



Discoveries in Field Work Series

Tokai University Press



Discoveries in Field Work Series

はじめに

フィールドの生物学シリーズは、研究者が自身の体験談を踏まえ、研究者でしか得られない自然界やフィールドの魅力を伝えることを目的として、2009年に刊行をスタートした。5年が経過した現在、以下の14冊が刊行されている。

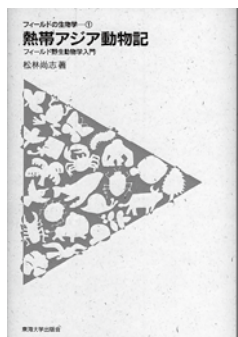
- 第1巻『熱帯アジア動物記：フィールド野生動物学入門』松林尚志
- 第2巻『サイチョウ：熱帯の森にタネをまく巨鳥』北村俊平
- 第3巻『モグラ：見えないものへの探究心』川田伸一郎
- 第4巻『虫をとおして森をみる：熱帯雨林の昆虫の多様性』岸本圭子
- 第5巻『共生細菌の世界：したたかで巧みな宿主操作』成田聡子
- 第6巻『右利きのヘビ仮説：追うヘビ、逃げるカタツムリの右と左の共進化』細 将貴
- 第7巻『テングザル：河と生きるサル』松田一希
- 第8巻『アリの巣をめぐる冒険：未踏の調査地は足下に』丸山宗利
- 第9巻『孤独なバツタが群れるとき：サブクトビバツタの相変異と大発生』前野・ウルド・浩太郎
- 第10巻『凹凸形の殻に隠された謎：腕足動物の化石探訪』椎野勇太
- 第11巻『野生のオランウータンを追いかけて：マレーシアに生きる世界最大の樹上生活者』金森朝子
- 第12巻『クマが樹に登ると：クマからはじまる森のつながり』小池伸介
- 第13巻『イマドキの動物 ジャコウネコ：真夜中の調査記』中島啓裕
- 第14巻『裏山の奇人：野にたゆたう博物学』小松 貴

では、本冊子について語ろう。フィールドの生物学シリーズの著者と執筆予定者、プラス編集者の良き理解者の方々に、推奨する自然科学書、人文書、文芸書、プラス音楽などの4つを選んでいただいた。「なぜ、音楽」と思われる方もいらっしゃるだろうが、問わないで欲しい。また、しっかりした編集方針も原稿の字数制限もない。だから、それぞれの項目に凸凹がある。編集者として不可測なおもしろさを楽しんでしまったところもある。巻末には本冊子を執筆いただいた方々とプラスの方々に自然科学書ベスト5を選んでいただいている。

この十数名の方々の推奨する本と音楽を想見して、それぞれの著書を読んでもいただければ、新たな発見があるかもしれない。私も再読してみようと思う。

最後に編集者の思いつきに、お忙しいなか、おこたえいただき、お付合いただいた著者の皆さんに感謝したい。移り気な編集者に惑わされず素敵なデザインに仕上げて下さったデザイナーの岸和泉さんに感謝したい。

編集者 I



フィールドの生物学①
熱帯アジア動物記
フィールド野生動物学入門

ISBN978-4-486-01840-7 C1345

B6判 200頁

定価(本体2000円+税)

内容：現役の研究者たちによる現場を経験した者しか知り得ない自然界やフィールドの魅力、醍醐味を伝えていくシリーズの第一弾。失われていく東南アジアの熱帯の森と、そこに生きぬく野生動物たちの知られざる生態にせまる。

目次

- 第1章 熱帯アジアの森へ
- 第2章 マメジカの生態に迫る
- 第3章 野生動物が集まるふしぎな湧水「塩湯」
- 第4章 熱帯アジアの森と野生動物の現状

AUTHOR
PROFILE**松林 尚志** (まつばやし ひさし)

東京農業大学地域環境科学部 准教授

http://dbs.nodai.ac.jp/html/100000780_ja.html

AUTHOR RECOMMEND

**推奨する 自然科学書****1. 野生のイリオモテヤマネコ**

著者：安間繁樹(著)
発売日：1976/4/15
出版社：汐文社
頁数：286頁

**推奨する 人文社会書****1. コン・ティキ号探検記**

著者：トール・ハイエルダール(著)
水口志計夫(訳)
発売日：1996/8/22
出版社：筑摩書房
定価：本体950円+税
頁数：368頁
ISBNコード：978-4-480-3169-3

**推奨する 文芸書(小説)****1. 旅をする木(文春文庫)**

著者：星野道夫(著)
発売日：1999/3/10
出版社：文藝春秋
定価：本体476円+税
頁数：256頁
ISBNコード：978-4-16-751502-7

**推奨する 音楽****1. 風をあつめて**

(アルバム「風街ろまん」収録)

はっぴいえんど
レーベル：avex io

すべて、自分に偽りなく生きることの
すばらしさを教えてください。





フィールドの生物学②

サイチョウ

熱帯の森にタネをまく巨鳥

ISBN978-4-486-01841-4 C1345

B6判 180頁

定価(本体2000円+税)

内容：タイ・カオヤイの熱帯の森で1000日間におよぶ調査研究を通して得られた、動物による果実食と種子散布の謎を解きあかす。

目次

- 第1章 サイチョウの棲む森へ
第2章 世界自然遺産の森カオヤイ
第3章 動物による果実食と種子散布
第4章 サイチョウによる種子散布の有効性

AUTHOR
PROFILE

北村 俊平 (きたむら しゅんぺい)

石川県立大学生物資源環境学部 准教授

<http://www.ishikawa-pu.ac.jp/staff/?staffname=kitamura-shumpei>

AUTHOR RECOMMEND



推奨する 自然科学書

1. 週刊朝日百科

動物たちの地球 シリーズ

学部生の頃に発刊されていたシリーズで、いつも下宿近くの本屋で購入していました。様々な生物が美しい写真とともに紹介されており、今でも講義ネタを探したり、調べ物をするときに重宝するので、研究室の本棚に並んでいます。お気に入り、熱帯雨林に関する109号と110号です。

2. 火の賜物—ヒトは料理で進化した

著者：リチャード・ランガム(著)

依田卓巳(訳)

発売日：2010/03/26

出版社：NTT出版

定価：2592円

頁数：262頁

ISBNコード：978-4-7571-6047-7

火を使って料理することの進化的な意味なんて考えたことはなかったので、その着眼点に驚きました。サイチョウが果実を食べたあと、のんびり過ごしているようにみえたのは、必死に消化していたのだろうかと考えさせられた本です。

推奨する 人文社会書

1. ハーバード白熱日本史教室

(新潮新書)

著者：北川智子(著)

発売日：2012/05/17

出版社：新潮社

定価：734円

頁数：190頁

ISBNコード：978-4-10-610469-5

教員になって講義をする際に参考書の一つとして読みました。講義にかぎらず、事前準備の重要性をあらためて感じた一冊です。まだまだ、こんな講義はできそうにありません。

推奨する 文芸書(小説)

1. 風が強く吹いている(新潮文庫)

著者：三浦しをん(著)

発売日：2009/6/27

出版社：新潮社

定価：907円

頁数：670頁

ISBNコード：978-4-10-116758-9

ポストドクとしてタイ南部に長期滞在していた頃に読みました。もと長距離ランナーとしては、現実にはありえない設定だと感じるところはありますが、駅伝の魅力が伝わってくる一冊です。

推奨する 音楽

1. 白いカイト

My Little lover

レーベル：トイズファクトリー

学部生の頃、聞いていたラジオでよくかかっていたのと小さい頃から風揚げが好きだったことが影響しているかもしれません。時々、ふわっと浮かんでみたい気分になります。

2. NHK みんなのうた
メトロポリタン美術館

大貫妙子

http://cgi2.nhk.or.jp/minna/search/index.cgi?id=MIN198404_041

曲のテンポと最後は絵にとり込まれてしまうというオドロドロしい鬱陶しい人形アニメが好きです。



フィールドの生物学③

モグラ

見えないものへの探究心

ISBN978-4-486-01842-1 C1345

B6判 224頁

定価(本体2000円+税)

内容：北海道と南西諸島を除くほぼ日本全域に生息し、コウモリと並んで最も身近な哺乳動物であるモグラ。ただし特殊な生態から謎も多い。見えない姿を追い求め世界中のフィールドで捕獲・調査・研究を行ってきたモグラ博士がその謎を解き明かす。

目次

- 第1章 日本でモグラを調査する
- 第2章 ロシアでの「クロット(モグラ)」研究
- 第3章 北米を攻める
- 第4章 憧れの中国雲南省へ
- 第5章 未知のモグラを求めて、新種の発見
- 第6章 東南アジアでモグラを捕る

AUTHOR
PROFILE**川田 伸一郎** (かわだ しんいちろう)

国立科学博物館動物研究部 研究員

<http://www.kahaku.go.jp/research/researcher/researcher.php?d=kawada>

AUTHOR RECOMMEND

推奨する **自然科学書**

1. ダーウィン以来—進化論への招待
(ハヤカワ文庫 NF)

著者：S・J・グールド(著)
浦本昌紀・寺田 鴻(訳)

発売日：1995/9/27
出版社：早川書房
定価：本体960円+税
頁数：446頁
ISBNコード：978-4-15-050196-9

自然科学のレベルを超えた内容のエッセイ集で、今の僕のもの書きの参考にもなっているように思います。

推奨する **人文社会書**

1. 文明の中の博物学—西欧と日本
上・下巻

著者：西村三郎(著)
発売日：1999/8/31
出版社：紀伊国屋書店
定価：各本体3200円+税
頁数：348頁 / 384頁
ISBNコード：978-4-314-00850-4
978-4-314-00851-2

博物学という視点を歴史的にヨーロッパと日本で比較したすばらしい作品で、大学院時代に動物学を学ぶには歴史的な要素が必要なことを学ばせてく

れた本。

推奨する **文芸書(小説)**

1. 新装版コインロッカーベイビーズ
(講談社文庫)

著者：村上 龍(著)
発売日：2009/7/15
出版社：講談社
定価：本体876円+税
頁数：568頁
ISBNコード：978-4-06-276416-2

数年に一度読み返したくなる本。この世界観がたまりません。

推奨する **音楽**

1. Inca Roads
(アルバム One Size Fits All 収録)

フランクザッパ
レーベル：Zappa Records

マリンバとギターの冴えわたる名曲。



どうやったらこんなギターが弾けるんだらう。

2. おまつり
—やっぱりおまつりのある街へ行ったら泣いてしまった
(アルバム—触即発収録)

四人囃子
レーベル：ポニーキャニオン

時々これを聞いて、イントロのギターソロに泣いています。どうやったらこんな素敵なメロディーを作れるんだらう。



フィールドの生物学④
虫をとおして森をみる
熱帯雨林の昆虫の多様性

ISBN978-4-486-01843-8 C1345

B6判 172頁

定価(本体2000円+税)

内容：熱帯アジアの森をフィールドにし、「一斉開花」の現象をはじめとする自然環境とハムシを中心とした昆虫との関係を女性研究者ならではの視点から紹介する。

目次

- 第1章 ボルネオの熱帯雨林へ
- 第2章 昆虫の長期観測
- 第3章 林冠の世界
- 第4章 昆虫の季節
- 第5章 早魃の影響
- 第6章 フィールド研究をはじめる若者へ

AUTHOR
PROFILE**岸本 圭子** (きしもと けいこ)

東京大学大学院総合文化研究科 特任研究員

<https://sites.google.com/site/kkykytu/home/>

AUTHOR RECOMMEND

**推奨する 自然科学書**

1. 人体 失敗の進化史(光文社新書)

著者：遠藤秀紀(著)

発売日：2006/6/16

出版社：光文社

定価：本体740円+税

頁数：251頁

ISBNコード：978-4-334-03358-3

誤った“進化”という言葉が世の中に多く流布している現在こそ、きちんと進化のプロセスを理解することが重要です。この本は、我々の問題としてより興味を持てるであろう人体の話題と、著者の魅力的な語り口のおかげで、文系・理系問わず進化が理解できる一冊になっています。

推奨する 人文社会書

1. 美人論(朝日文芸文庫)

著者：井上章一(著)

発売日：1995/12/15

出版社：朝日新聞社

定価：本体820円+税

頁数：314頁

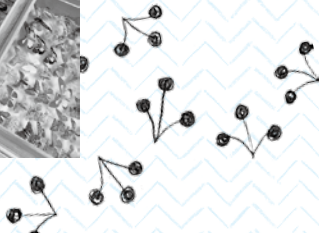
ISBNコード：978-4-022-64095-6

男性による(女性からも?)女性観の変遷が興味深い一冊。男性にも女性にも読んでもらいたい。

推奨する 文芸書(小説)

1. 文学部唯野教授(岩波現代文庫)

著者：筒井康隆(著)



発売日：2000/1/14

出版社：岩波書店

定価：本体900円+税

頁数：378頁

ISBNコード：978-4-00-602001-5

学部生のうちに読んでおくと純粋に大笑いできる一冊です。

推奨する 音楽

1. 若者のすべて

フジファブリック

レーベル：EMI ミュージック・ジャパン

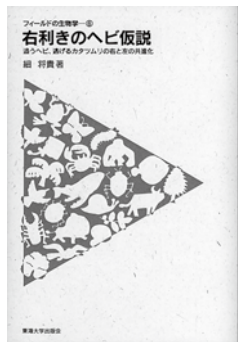
“切ない”という言葉はこの曲のためにあるのだと衝撃を受けました。

2. The piano guys (アルバム)

The piano guys

レーベル：Masterworks

ただただ楽しくなれる曲がつまっています。



フィールドの生物学⑥

右利きのヘビ仮説

追うヘビ、逃げるカタツムリの右と左の共進化

ISBN978-4-486-01845-2 C1345

B6判 212頁

定価(本体2000円+税)

内容：琉球列島に生息する右巻きのカタツムリが、カタツムリを捕食するヘビから逃げるために、左巻きへと進化したという仮説を、西表島でのフィールドワークを通して解説する。

目次

- 第1章 生き物の右と左
- 第2章 右利きのヘビ
- 第3章 西表島で調査する
- 第4章 検証・右利きのヘビ仮説

AUTHOR
PROFILE

細 将貴 (ほそ まさき)

京都大学白眉センター 特定助教

<http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/rj/IQ3xW>

AUTHOR RECOMMEND



推奨する 自然科学書

1. チェンジング・ブルー
— 気候変動の謎に迫る

著者：大河内直彦(著)
発売日：2008/11/27
出版社：岩波書店
定価：本体2800円+税
頁数：422頁
ISBNコード：978-4-00-006244-2

気候の変動メカニズムという巨大な謎に果敢に挑んできた地球科学者たちの奮闘の歴史を余すことなく伝える良著。文明の存続を賭けた困難な戦いが今も続いているという現実に思いを馳せずにはいられない。第25回(2009年)講談社科学出版賞受賞。



推奨する 人文社会書

1. 科学の社会学
— 近代日本の科学体制(自然選書)

著者：廣重徹(著)
発売日：1973/1
出版社：中央公論新社
定価：各本体3200円+税
頁数：345頁
ISBNコード：978-4-12-000528-2

科学という営みはなぜ発生したのか。国家が高等教育や基礎科学に資金を投



じる政理はどこにあるのか。叡智に伴う業を自覚した科学者だけが、真理の追究を許される。



推奨する 文芸書(小説)

1. 神々の山嶺 上・下巻(集英社文庫)

著者：夢枕獯(著)
発売日：2000/8/18
出版社：集英社
定価：本体730円+税
 本体800円+税
頁数：512頁 576頁
ISBNコード：978-4-08-747222-1
 978-4-08-747223-3

物語は、カトマンドウの古道具屋で、フィルムの抜き取られた年代物のカメラが見つかることから始まる。エベレスト初登頂の歴史を書き換える可能性を秘めたそのフィルムは、どこにあるのか。謎を追うなかで主人公の深町は、人生のすべてを犠牲にして前人未到の記録に挑む登山家、羽生丈二を知ることになる。科学に奉じる自分の覚悟を省みられる一冊。第11回(1998年)柴田錬三郎賞受賞。



推奨する 音楽

1. 島唄

THE BOOM
レーベル：ソニー・ミュージックレコーズ
沖繩の青い海と空を思い起こさせるヒットソング。南の島好きにはたまらない一曲。

2. 菊次郎の夏(Soundtrack)

久石 譲
レーベル：ポリドール

里山の風景を彷彿させ、かつての子供を再び野山に誘う一曲。



フィールドの生物学者①
テングザル
河と生きるサル
松田一希 著

東京大学出版会

フィールドの生物学者①

テングザル

河と生きるサル

ISBN978-4-486-01846-9 C1345

B6判 160頁

定価(本体2000円+税)

内容: ボルネオの固有種で、オスだけが天狗のような長く大きな鼻をもつテングザルにスポットをあて、川沿いの樹上で生活し、川を泳いで渉するという特異な行動に秘められた、テングザルの適応戦略のカラクリを紹介する。

目次

- 第1章 サル研究との出会い
- 第2章 テングザルの知られざる生態
- 第3章 テングザルの未来

AUTHOR
PROFILE

松田 一希 (まつだ いっき)

京都大学霊長類研究所 特定助成

<http://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/fj/sP6pR>

AUTHOR RECOMMEND



推奨する 自然科学書

1. オオカミよ、なげくな

著者: ファーレイ・モウワット(著)

小原秀雄、根津真幸(訳)

発売日: 1977/1

出版社: 紀伊国屋書店

頁数: 206頁

ISBNコード: 978-4-31-400184-7

これほどワクワクしたフィールドワーク本に、いまだ出会ったことがありません。



推奨する 人文社会書

1. 砂糖の世界史(岩波ジュニア新書)

著者: 川北 稔(著)

発売日: 1996/7/22

出版社: 岩波書店

定価: 本体820円+税

頁数: 212頁

ISBNコード: 978-4-00-500276-5

フィールドにいるときに偶然、手にとった本でした。砂糖という切り口から描かれた視点がおもしろく、大人にもぜひお薦めしたい本です。



推奨する 文芸書(小説)

1. スプートニクの恋人(講談社文庫)

著者: 村上春樹(著)

発売日: 2001/4/15

出版社: 講談社

定価: 本体571円+税

頁数: 320頁

ISBNコード: 978-4-06-273129-0

学生時代によく読んでいた村上作品の中で、最も印象に残っている作品。不思議な世界観に引き込まれます。



推奨する 音楽

1. ホモジェニック

ビョーク

レーベル: ユニバーサルインターナショナル

学生時代によく聞いたアルバム。なぜか印象に残っています。美しい世界観。

2. ビンボン(Soundtrack)

レーベル: キューンミュージック

力が湧いてくるような元気な曲ばかりを集めたアルバム。





フィールドの生物学⑧
アリの巣をめぐる冒険
未踏の調査地は足下に

ISBN978-4-486-01847-6 C1345

B6判 236頁

定価(本体2000円+税)

内容：アリと共生する昆虫を研究する、生き物が大好きな研究者の物語。アリと共生する好雌性昆虫を知っている人は少ないだろう。その虫の世界のとびらを開き、虫大好きな研究者の日々の研究誌をつづる。

目次

- 第1章 好雌性昆虫学とはじめ
第2章 アリの行列の百鬼夜行
第3章 研究の枝葉を伸ばす

AUTHOR
PROFILE**丸山 宗利** (まるやま むねとし)

九州大学総合研究博物館 助教

<https://sites.google.com/site/myrmekophilos/cv>

AUTHOR RECOMMEND



📖 推奨する 自然科学書

1. 生命は細部に宿りたもう —マイクロハビタットの小宇宙

著者：加藤 真(著)
発売日：2010/10/7
出版社：岩波書店
定 価：本体1800円+税
頁 数：142頁
ISBNコード：978-4-00-006276-3

あまり注目されることのない微環境に生息する貴重な生物やその微環境はごくむ景観について、日本の自然科学界随一のナチュラリストである著者が、情感あふれる美しい文章で紹介している。

📖 推奨する 人文社会書

1. デカルト(岩波新書)

著者：野田又夫(著)
発売日：1966/7
出版社：岩波書店
定 価：本体740円+税
頁 数：192頁
ISBNコード：978-4-00-412022-3

デカルト哲学の概要を簡潔にまとめた入門書である。デカルトの自然哲学には、一見簡単な言葉に底知れない奥深さがある。このような入門書からもそ

れは垣間見え、言葉というものの重みを考えさせられる。

📖 推奨する 文芸書(小説)

1. 蚩川・泥の河(新潮文庫)

著者：宮本 輝(著)
発売日：2005/11
出版社：新潮社
定 価：本体400円+税
頁 数：199頁
ISBNコード：978-4-10-130709-1

著者の人間描写は迫真でありながらも温かく、特に初期作には傑作が多い。そのなかでも、彫舟に暮らす姉弟と周囲の人々との交流を描いた「泥の河」は戦後日本の庶民の心の原風景を映し出しているようであり、いつまでも残る余韻がある。

2. 原色の街・驟雨(新潮文庫)

著者：吉行淳之介(著)
発売日：1965/10
出版社：新潮社
定 価：本体562円+税
頁 数：324頁
ISBNコード：978-4-10-114301-9

精神と肉体のつながりから人間の生を追求した著者の初期作で、特に1952年の芥川賞を受賞した「驟雨」は日本文学

に輝く傑作である。これほど男の心の動き、その矛盾を正確に描いた作品はないだろう。娼婦に恋した主人公が食卓で蟹を食べながら箸を折ってしまう描写の見事さには溜息しかない。

🎵 推奨する 音楽

1. アルフィー

シラ・ブラック
レーベル：EMI ミュージック・ジャパン

パート・バカラックによる名曲中の名曲。ハル・デヴィッドの歌詞も白眉。もともとは映画「アルフィー」の主題歌で、いろいろな歌手が手がけているが、とくにシラ・ブラックによる録音は、歌とオーケストラの迫力がすばらしい。

2. シェガ・チ・サウダージ

ジョアン・ジルベルト
レーベル：マーキュリー・ミュージック
エンタテインメント

作曲家のアントニオ・カルロ・ジョビンとギターの名手兼歌手のジョアン・ジルベルトというボサノバを作り出した二人による初期作。詩人ヴィニシウス・デ・モライスによるポルトガル語の歌詞も美しい。



フィールドの生物学⑨

孤独なバッタが群れるとき サバクトビバッタの相変異と大発生

ISBN978-4-486-01848-3 C1345

B6判 338頁

定価(本体2000円+税)

内容：砂漠に生息するサバクトビバッタ。時に緑色から黒色に姿を変え、大発生・大移動をして農作物に被害を与える黒い悪魔である。このサバクトビバッタとの壮絶な戦いを、著者の成長の過程とともに紹介する。

目次

- 第1章 運命との出逢い
- 第2章 黒き悪魔を生みだす血
- 第3章 代々伝わる悪魔の姿
- 第4章 悪魔を生みだす謎の泡
- 第5章 バッタ de 遺伝学
- 第6章 悪魔の卵
- 第7章 相変異の生態学
- 第8章 性モザイクバッタ
- 第9章 そしてフィールドへ……

AUTHOR
PROFILE

前野 ウルド 浩太郎 (まえの うろど こうたろう)

京都大学白眉センター 特定助教

<http://d.hatena.ne.jp/schistocerca/>

AUTHOR RECOMMEND



📖 推奨する 自然科学書

1. ときめき昆虫学

著者：メレ山メレ山(著)

発売日：2014/4/6

出版社：イーストプレス

定価：本体1600円+税

頁数：312頁

ISBNコード：978-4-7816-1173-0

読者を虫の世界に引きずり込もうとする罠がいたるところに仕掛けられており、一度読んだら虫の魅力から逃れられない危険な一冊。相手の心を掴むための秘術が学べる特典付き。

📖 推奨する 人文社会書

1. 「AV女優」の社会学

—なぜ彼女たちは饒舌に自らを語るのか

著者：鈴木涼美(著)

発売日：2013/6/24

出版社：青土社

定価：本体1900円+税

頁数：310頁

ISBNコード：978-4-7917-6704-5

「己をいかにして売り込んでいくか」血気盛んな若手研究者として自分の研究をどうやって世間にアピールすべきか答えを探っていた時に担当編集者から

謹呈された一冊。自分自身を武器に生きていくAV女優。そして、その価値を極限まで高めようとするマネージング陣営。エロいパッケージの裏側に秘められていたのは、厳しい競争の中で繰り広げられる無修正の生き様であった。生きるとは何かを深く考えさせられる一冊。

📖 推奨する 文芸書(小説)

1. 小説 上杉鷹山(集英社文庫)

著者：童門冬二(著)

発売日：1996/12/13

出版社：集英社

定価：本体960円+税

頁数：688頁

ISBNコード：978-4-08-748546-3

34歳、無収入、貯金を切り崩しながらアフリカで研究して成果をあげなければ路頭に迷う運命に置かれていた。肩身が狭い想いで日本に帰国したときに、友人がくれた一冊がこの本。若くして藩主となり、崩壊寸前の財政を立て直しを試みる上杉鷹山。信念を貫き、耐え忍び、思いやりを持って果敢に攻め、道を切り開いていく。大きな目標に向かって周りと力を合わせ一歩ずつ進んで行くその姿にアフリカに戻る飛行機の中で涙した。苦境に陥ると、志を掲げ、己を信じる大切さをこの本が教えてくれたおかげで私は奮起し、



京都大学に就職できた。困難に立ち向かうときに勇気づけてくれる一冊。

🎵 推奨する 音楽

1. I Say Yeah!

PUSHIM/RHYMESTER/HOME MADE

家族/マボロシ/May J

レーベル：キューンミュージック

好きなことをずっと続けている者たちが歌う曲。この曲を聴くと自分も死ぬまでずっと研究者でいたいと思えて、超ヤル気が湧いてくる一曲。

2. Making the Road

Hi-STANDARD

レーベル：PIZZA OF DEATH RECORD

歌詞が英語なのでぶっちゃけ意味はわからないけど、この曲を聴くと自分の体が大喜びするのわかる。いつまでも消えない余韻を味わえる一曲。



フィールドの生物学—⑩

凹凸形の殻に隠された謎 腕足動物の化石探訪

ISBN978-4-486-01849-0 C1345

B6判 288頁

定価(本体2000円+税)

内容：カンブリア紀に出現し、古生代に繁栄した生きている化石といわれている腕足類を取り上げたわが国初の本。ナチュラルサイエンスを目指す初学者にとって刺激的な一冊。

目次

- 第1章 古生物の研究
- 第2章 腕足動物
- 第3章 海外の一級標本に触れる
- 第4章 化石から生物像を探る
- 第5章 再び海外にて
- 第6章 凹凸形の殻、進化

AUTHOR
PROFILE

椎野 勇太 (しいの ゆうた)

新潟大学教育研究院自然科学系 助教

<http://www.sc.niigata-u.ac.jp/sc/highschool/teacher/SHIINOYuta.html>

AUTHOR RECOMMEND



推奨する 自然科学書

1. 形を読む—生物の形態をめぐって
新装版

著者：養老孟司(著)

発売日：2004/2

出版社：培風館

定価：本体924円+税

頁数：226頁

ISBNコード：978-4-563-01908-9

何かを「できる」ことよりも「わかる」ことのほうが大切です。しかし、わかろうとする過程は多大な手間がかかり、難しく、出てくる答えは一つに限りません。本書は、「かたち」という漠然とした題材について、著者がどのような目的と方法を持って形への理解を深めたのか、またその中で形成されたであろう著者の哲学が惜しみなく綴られています。科学に携わるすべての人にオススメしたい一冊です。



推奨する 人文社会書

1. デザインにひそむ<美しさ>の法則
(ソフトバンク新書)

著者：木全賢(著)

発売日：2006/12/18

出版社：ソフトバンククリエイティブ

定価：本体700円+税

頁数：176頁

ISBNコード：978-4-7973-3794-5

形あるものは同じような傾向をたどって変化するのだな、と教えてくれる一冊。ここから得た着想を基にプレゼンのスライドを作成し、面接審査をパスしました。



推奨する 文芸書(小説)

1. 夢十夜 他二篇(岩波文庫)

著者：夏目漱石(著)

発売日：2007/1/16

出版社：岩波書店

定価：本体900円+税

頁数：188頁

ISBNコード：978-4-00-007280-9

たいてい、人の夢の話はつまらないのですが、この本は別格です。幻想的な世界観にも関わらず具体性に富み、読んでいっうちに引き込まれてしまいました。一つずつの話がそれほど長くない



推奨する 音楽

1. It Means Everything(アルバム)

Save Ferris

レーベル：Sony

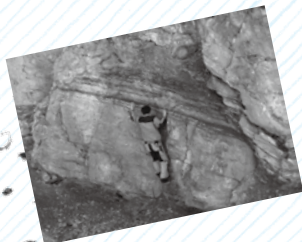
力強い女性ボーカルが特徴的なスカパンク。リズムの良いバンド演奏の中で、歌声が跳ね回るような疾走感を演出しています。2作目のアルバム「Modified」も一押しです。

2. ユニバーサル・バニー(アルバム)

シェリル・ノーム starring May'n

レーベル：flying DOG

とにかく声質と歌い方が好きです。混じりっ気のない芯の通った歌声がきれいです。移動中の音楽は、シェリル関連のリピート再生一択です。





フィールドの生物学⑫
クマが樹に登ると
クマからはじまる森のつながり

ISBN978-4-486-01993-0 C1345

B6判 240頁

定価(本体2000円+税)

内容：私たちにとって身近で、様々なキャラクターとして人気の高い反面、農作物や畜産物に被害を与える害獣とされている日本のクマを研究対象に、意外に知られていないこの動物の姿を、食性をキーワードに明らかにしていく。

目次

- 第1章 クマが暮らす森へ踏み込む
第2章 クマと果実の甘い関係
第3章 身近な森の動物たちの果実食の実態
第4章 クマの種子散布者としての特徴は？
第5章 散布された種子の運命

AUTHOR
PROFILE

小池 伸介 (こいけ しんすけ)

東京農工大学大学院農学研究院 講師

<http://www.tuat.ac.jp/~for-bio/>

AUTHOR RECOMMEND



推奨する 自然科学書

1. ゾウの時間ネズミの時間(中公新書)

著者：本川達雄(著)
発売日：1992/8/25
出版社：中央公論社
定価：本体680円+税
頁数：240頁
ISBNコード：978-4-12-101087-2

身の回りに存在する色々な動物には、それぞれ独自の時間スケールがあるという、一見当たり前なのだが、読んでみるとこれまでにない概念に衝撃を受ける。しかし、それにもかかわらず、動物たちは共通した規則を持っているという点から、人間と動物との関係を新たな視点で考えなおさせられる一冊である。



推奨する 人文社会書

1. 野性のうたが聞こえる

著者：アルド・レオポルド(著)
新島義昭(訳)
発売日：1997/10/9
出版社：講談社
頁数：370頁
ISBNコード：978-4-06-159301-5

自然保護文化を語るうえで必読の一冊であるが、それ以上に著者の自然に



推奨する 文芸書(小説)

1. デルス・ウザーラー沿海州探検行

著者：アルセーニエフ(著)
長谷川四郎(訳)
発売日：1965/11
出版社：平凡社
頁数：314頁
ISBNコード：978-4-58-280055-5

原住民の獵師の自然に対する敬いを強く感じるだけでなく、深い森の中で



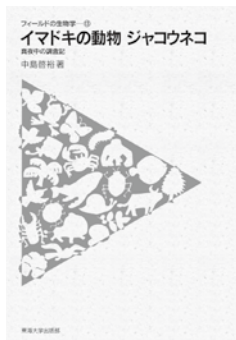
推奨する 音楽

1. 情熱の薔薇

ブルーハーツ
レーベル：イーストウエスト・ジャパン

2. Dancing Queen

ABBA
レーベル：Polydor/Umgd



フィールドの生物学⑬

イマドキの動物 ジャコウネコ

真夜中の調査記

ISBN978-4-486-01995-4 C1345

B6判 224頁

定価(本体2000円+税)

内容：東南・南アジア地域に広く生息し、体は小さく、色が灰色から褐色で、夜行性、肉食目でありながら果実食動物、絶滅の危機に瀕した野生動物のイメージとはかけ離れた謎の多い今どきの野生動物にスポットを当てる。

目次

- 第1章 ポルネオへ、そしてバームシベットへ
第2章 タビンの森のバームシベット
第3章 種子散布者としてのバームシベット
第4章 多様な熱帯雨林

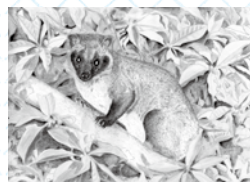
AUTHOR
PROFILE

中島 啓裕 (なかしま よしひろ)

日本大学生物資源科学部森林資源科学科 助教

<https://sites.google.com/site/yoshihironakashimawebpage/>

AUTHOR RECOMMEND



定 価：本体1050円+税

頁 数：326頁

ISBNコード：978-4-06-197619-2

学部学生時代に読んだ本。戦前、日本浪漫派の保田與重郎の文に「いかれた」という筆者が、自己批判の意味もこめて、日本浪漫派を批判的に論じている。自らの体験に根差した言葉の力強さを感じた。

📖 推奨する 自然科学書

1. 生き物たちは3/4が好き—多様な生物界を支配する単純な法則？

著 者：ジョン・ホイットフィールド (著)
野中 香方子 (訳)

発売日：2009/1/1

出版社：化学同人

定 価：本体2200+税

頁 数：352頁

ISBNコード：978-4-75981131-2

自然史研究は、ともすると自然界で発見した現象の記載にとどまってしまうことが多い。しかし、自然史研究を真の自然科学足らしめるためには、発見された個々の現象を貫く、より普遍的な原理・法則を探索することが不可欠だ。この本は、雑然とした生物界にも単純な法則があることを教えてくれる。読んでいてワクワクする。

2. 擬態の進化—ダーウィンも誤解した150年の謎を解く

著 者：大崎直太 (著)

発売日：2009/4/22

出版社：海游舎

定 価：本体3000円+税

頁 数：286頁

ISBNコード：978-4-905930-25-9

「擬態」という博物学時代から知られる

現象がいかに進化したのかについて論じた本。「擬態」という自然界の一つの現象の謎解きが、いかに魅力にあふれたものであるかを教えてくれる。同時に、個々の現象と包括的な理論との往復こそが、自然界の謎解きには不可欠なこともよくわかる。

📖 推奨する 人文社会書

1. 「日本」とは何か 日本の歴史(00)
(講談社学術文庫)

著 者：網野善彦 (著)

発売日：2008/11/10

出版社：講談社

定 価：本体1170円+税

頁 数：372頁

ISBNコード：978-4-06-291900-5

大学に入る前の夏休みに読んで、感動した本。自分たちが自明だと思っている概念も、歴史を丹念にひも解いてみると、いかに無根拠な思いこみにすぎないかを痛感させられた。膨大な資料の読み込みに裏打ちされた実証的な学問の凄味を感じた一冊。

2. 日本浪漫派批判序説
(講談社文芸文庫)

著 者：橋川文三 (著)

発売日：1998/6/10

出版社：講談社

📖 推奨する 文芸書(小説)

1. 城(白水Uブックス)

著 者：フランツ・カフカ (著)

池内 紀 (訳)

発売日：1971/4/30

出版社：白水社

定 価：本体1500円+税

頁 数：462頁

ISBNコード：978-4-560-07155-7

小説はあまり読まないが、カフカだけは今でも読む。「城」はその中でも最も好きな本。

🎵 推奨する 音楽

1. ピアノ五重奏曲

シューベルト



フィールドの生物学⑭

裏山の奇人

野にたゆたう博物学

ISBN978-4-486-01994-7 C1345

B6判 296頁

定価(本体2000円+税)

内容：生き物に魅せられた怪しい男が、近所の裏山から地球の裏側までを徘徊する。名もなき博物学者の「怪」進撃。

目次

- 第1章 奇人大地に立つ
- 第2章 あゝ裏山で待ってる
- 第3章 ジャングルクルセイダース
- 第4章 裏山への帰帰
- 第5章 極東より深愛を込めて

AUTHOR
PROFILE

小松 貴 (こまつ たかし)

九州大学熱帯農学研究センター 研究員
<http://sangetuki.blog.fc2.com/>

AUTHOR RECOMMEND



🎵 推奨する 音楽

1. Heart of Crusader
(アルバム Sing up! 収録)

真理絵
 レーベル: SMD itaku (music)

恋愛シュミレーションゲームの主題歌。切なくてカッコイイ曲。この手のゲーム主題歌にありがちな「二人でひとつに」というテーマは、固い絆(?)で結ばれたアリと好雌性生物の関係を彷彿とさせる。

2. 罪な薔薇
(魔界戦記ディスガイア2 アレンジサウンドトラック収録)

YOKO
 レーベル: ジェネオン エンタテインメント

これもゲームの主題歌。軽快に謡い上げるのは、「邪魔者には毒リンゴ」「神を気取る綺麗事」など、心がムズムズする「中二病」ワードの数々。裏切り、裏切られる罪深い世界観は、暗黒の土中で繰り広げられるアリと好雌性昆虫たちの騙し合いそのもの。好雌性昆虫、とくにフサヒゲサシガメのイメージングに推奨する。

📖 推奨する 自然科学書

1. 狩蜂生態図鑑
—ハンティング行動を写真で解く—

著者：田仲義弘(著)
 発売日：2012/9
 出版社：全国農村教育協会
 定価：本体2500円+税
 頁数：192頁
 ISBNコード：978-4-88137-167-1

日本産狩人蜂の生態を克明に記録した本で、見ることすら困難な珍しいハチが獲物を毒バリで刺す瞬間の写真がたくさん出てくる。撮影者の費やした時間や苦労が見て取れ、本を開いた瞬間に写真家としての負けを認めざるを得なかった。上には上がいることを思い知らせてくれた一冊。欲を言うと、文中の「狩蜂」という単語を全部「狩人蜂」に置き換えてくれたら、もう何も言うことなし。

📖 推奨する 人文社会書

1. 猫楠—南方熊楠の生涯
(角川文庫ソフィア)

著者：水木しげる(著)
 発売日：1996/10
 出版社：角川書店
 定価：本体680円+税
 頁数：427頁
 ISBNコード：978-40-4192907-0

📖 推奨する 文芸書(小説)

1. デート・ア・ライブ—十香デッドエンド
(富士見ファンタジア文庫)

著者：橋 公司(著) / つなこ(イラスト)
 発売日：2011/3
 出版社：KADOKAWA / 富士見書房
 定価：本体600円+税
 頁数：317頁
 ISBNコード：978-4-8291-3623-2

強大な力を持つがゆえ人々から危険視され、その正体もろくに理解されぬまま滅滅されようとする未知の生命体「精霊」。彼女らとの接触・交流を通じて、主人公は精霊たちと次第に絆を深め、やがてその真の姿を知る。身近な裏山に住みながら誰からも存在を認められず、生態も分からぬままに滅び行かんとする生き物の研究を行ううえで、大切な何かを覚えてくれる気がする書。

COMING
SOON

フィールドの生物学

琉球列島のススメ (仮)

AUTHOR PROFILE : 佐藤 寛之 (さとう ひろゆき)
沖縄国際大学 非常勤講師
http://www.tus.ac.jp/fac_grad/p/index.php?69eb



AUTHOR RECOMMEND



推奨する 人文社会書

1. 帆船バウンティ号の反乱

著者: B. ダニエルソン (著)
山崎昂一 (訳)
発売日: 1982/9
出版社: 朝日新聞社
頁数: 334頁
ISBNコード: 978-4-022-55015-6

植民地時代のイギリスの帆船バウンティ号。当時西インド諸島につれてきた多くの奴隷向けの新しい食料として南太平洋に生育していたパンの木を西インド諸島に持ち込もうと画策し、様々な食い違いから失敗してしまった航海記である。ヨーロッパ人の熱帯、温帯域に対する執念とも呼べるような執着の一端を考えるうえでも、当時の航海というものや南太平洋の民俗などを伺い知るうえでも興味を引く内容かと思われる。

2. 南太平洋物語

—キャプテン・クックは何を見たか

著者: 石川栄吉 (著)
発売日: 1984/1
出版社: 力富書房
定価: 本体1200円+税
頁数: 262頁
ISBNコード: 978-4-8977-6009-4

キャプテンクックの航海記をたどりながら当時の白人の目から見たポリネシア人についての詳細が描かれている。現在では完全に失われてしまっている死生観や神の存在、価値観などが分かりやすくまとめられている。日本との関係なども触れられており、日本人という存在を考える一つの切り口としておもしろいと思う。

3. 毛皮と人間の歴史

著者: 西村三郎 (著)
発売日: 2003/2/17
出版社: 紀伊国屋書店
定価: 本体2800+税

頁数: 388頁
ISBNコード: 978-4-614-00930-6

毛皮という存在を中心に据えて歴史を考察している。著者の視点の豊かさが古代から近代史に至る様々な出来事の裏側に存在したもう一つの歴史を丁寧に紡いでいる。ヨーロッパにおける流行がもたらした動物の絶滅や日本が鎖国していた時代にも毛皮のやり取りが存在した事実、日本人の中の毛皮に対する需要と価値観の形成など、ヨーロッパだけでなく洋の東西をまたいで行なわれた毛皮の移動の様子がとてもおもしろい。

4. 日本の知恵ヨーロッパの知恵

著者: 松原久子 (著)
発売日: 1985/2
出版社: 三笠書房
定価: 本体1200円+税
頁数: 234頁
ISBNコード: 978-4-837-91266-8

ドイツ語で出版された外国人向けの日本の本。日本人としてのアイデンティティをいやでも意識しないとけない日本の外に出た日本人である著者が日本とヨーロッパの価値観や心の軸にしているものなどを分かりやすく比較し示している。日本人として当たり前の事がどれほど価値があり、希少な事であるかといった視点が自分という存在を見直してみる

いい切り口になると思う。

5. 銃・病原菌・鉄 (上・下巻)

著者: ジャレッド・ダイヤモンド (著)
倉骨彰 (訳)
発売日: 2000/10/2
出版社: 草思社
定価: 各本体1900円+税
頁数: 320頁 / 352頁
ISBNコード: 978-4-7942-1005-0
978-4-7942-1006-7

食料を何に依存するか、農耕か狩猟か、野生植物をどのように栽培植物へと変容させていったかという人類が繁栄していく上での必須となる基本的な問題を世界の各地域の例をあげて考察していく。さらには文字、土器、政治、生活形態といった文化的なモノの背景もその地理的な環境を背景に考察している。今の我々に至るまでの人類の苦悩や試行錯誤、地球上の他地域での人類史における謎ともいえるような不可思議な現象にも言及していて読み応えがあつてとてもおもしろい。

6. リンネとその使徒たち

—探検博物学の夜明け (朝日選書)

著者: 西村三郎 (著)
発売日: 1997/11/7
出版社: 朝日新聞社
定価: 本体1600円+税
頁数: 360頁



ISBNコード: 978-4-022-59688-8

カールリンネ、分類学を目指す人間なら誰もが知っているこの人間がこの世にもたらした功績をその背景と共に面白く紹介している。フォスコールやツェンペリーなど日本の分類学に関係の深い人物も登場してくるので日本の分類学を世界の流れの中で考えるうえでいい参考書存在だと思う。また当時調査というものがいかに命がけであったかという事にも触れられていて物語としても十分にわくわくしながら読める本である。

7. スパイス、爆薬、医薬品 —世界史を変えた17の化学物質

著者: ジェイ・バーレサン、
ベニー・ルクター (著)
小林 力 (訳)

発売日: 2011/11/25
出版社: 中央公論新社
定価: 本体2600円+税
頁数: 372頁
ISBNコード: 978-4-12-004307-9

身近に存在する化学物質をその発見から現在に至る過程を面白く切り取っている。エピソードと共に読み進める事で化学屁の興味を引き出すいろいろなきっかけに出来そうな気がする。スパイスを手に入れるためにヨーロッパ人が払った努力と、執念がよくわかっておもしろい。

🎵 推奨する 音楽

1. インソムニア(アルバム)

眩暈 流星群
鬼束ちひろ

レーベル: EMI ミュージック・ジャパン

📖 論書いているときにかけ続けてました。声質がとて心地いいアーティストだと思います。

2. pearly gate(アルバム)

one step 地上に舞い降りた天使達
田村直美
レーベル: キングレコード

声量があり聞いていて元気になるアーティストなのでどの曲も好きです。

フィールドの生物学

クモを利用する策士 (仮)

捕食者を逆手に取ったクモヒメバチの寄生戦略

AUTHOR PROFILE **高須賀 圭三** (たかすが けいぞう)

日本学術振興会特別研究員 (神戸大学大学院農学研究科)
<https://sites.google.com/site/keizaf1/>



AUTHOR RECOMMEND

📖 推奨する 自然科学書

1. 熱帯雨林を観る(講談社メチエ)

著者: 百瀬邦泰(著)
発売日: 2003/8/10
出版社: 講談社
定価: 本体1500円+税
頁数: 214頁
ISBNコード: 978-4-06-258276-7

随一のナチュラリスト(特に植物と菌)で、東南アジアで生態学を展開した頭学でありながら、若くして鬼籍に入られた故・百瀬邦泰氏唯一の著書である。生物学や民俗学における様々な学問に精通した鋭い視点から、一斉開花を中心に熱帯アジアの密林で起こっている生物同士あるいは生物と環境との相互関係を、地質年代スケールからトピカルな話題にまで手を伸ばしながら解説している。多少の事前知識を必要とするややハイレベルな一般向け科学書であるが、提供される話題は読む人をドラマチックな進化の世界へいざなってくれ、

熱帯生物学への興味の有無にかかわらず、生物の研究をしている、あるいはこれからしたい学生達にはぜひ読んでもらいたい一冊である。

秀逸なのは、一般的な論理展開に加えて、理解のためにより専門的な知識を要する時に巻末の脚注で詳細に説明されているその内容である。それらは非常に勉強になる。例えば、第一部の脚注1で述べられた「種」の概念と分類学に関する記述は種の哲学的意義と分類学の基本が凝縮されており、何も知らない学生時代生物学に携わり始めた頃に読めたことはとても幸運だった。作中では一般に浸透してしまった誤った常識を鋭く指摘している点も有益である。

後半部ではマレーシアの熱帯雨林に住む民族に焦点を当て、原住民と熱帯雨林との関わりを民俗学的観点から詳しく説明している。また、著書独自の哲学から考える熱帯雨林保全の在り方によって締められている。

📖 推奨する 人文社会書

1. 海の都の物語—ヴェネツィア共和国の一千年 下巻(中公文庫)

著者: 塩野七生(著)
発売日: 1989/8
出版社: 中央公論新社
定価: 本体1050円+税
頁数: 521頁/607頁
ISBNコード: 978-4-12-201634-7
978-4-12-201635-4

イタリアに住み、代表作『ローマ人の物語』を始めイタリアを中心とした秀逸な歴史小説を多数上梓する塩野七生による、ベネツィア共和国一千年の栄枯盛衰物語。ベネツィア共和国を「海の都」と称し、同国がいかにして激動の中世ヨーロッパで最も長く隆盛を維持し続けられたのかを、史実に基づき、まるでその場所にいるかのような臨場感にあふれる文章で描いている。

ベネツィア共和国は魚と塩しか生産できない資源に乏しい国だったが、その地理的条件と得意とする造船・航海技術を最大限に生かした近隣諸国との貿易のうまさで、「地中海の女王」と謳われる海洋国家へと登りつめる。その背景で忘れてはならないのが、ドージェと呼ばれる終身制の元首制度と大評議会と呼ばれる合議機関による、イギリスより先に発達した議会政治の存在である。この世界に先駆けた民主政

治が国の安定と繁栄を生み、多くの歴史的教訓を遺す。

作中には様々な魅力的なドージュが登場するが、中でも印象的なのが、ほとんど盲目である上80歳を超えて第41代ドージュに就任したエンリコ・ダンドロである。聡明にして行動力に溢れ、キリスト教とイスラム教が聖地エルサレムをめぐる混沌とする13世紀のヨーロッパにおいて、人口わずか十万人規模のベネツィア共和国の存在感を存分に示した。ベネツィア海軍が第四次十字軍とのコンビで、当時ヨーロッパ最大の国家・ビザンチン帝国の難攻不落の首都コンスタンティノール(現イスタンブール)を攻めた際、激戦の最中、自軍のガレエ船から敵陣の岸壁に一番最初に降り立ったのは、他でもない盲目の老ドージュ・エンリコだった。その姿に奮い立ちたベネツィア軍は一気に攻め込み、大勢は決する。

この戦いも、元々はベネツィア共和国の海運・海戦能力に期待した第四次十字軍から持ちかけられたエジプト・カイロのイスラム教本陣へ攻め込むための協力要請であった。しかし、度重なる不可抗力により様々な思惑が傾斜すると、エンリコは微動だにせず、右往左往する十字軍を尻目に賢明な判断力と巧みな交渉力によって、本来十字軍の目的とするイスラム教本陣の落城から、ベネツィア共和国と犬猿のビザンチン帝国への討伐へと大軍の進路を変えてしまう。大勝の結果、ビザンチン帝国はラテン帝国と名を変え、ベネツィア共和国にとって極めて重要な国外拠点となったのである。『初めに商売ありき』というベネツィア共和国の原則を透徹した判断でその強みを最大引き出したエンリコを、塩野は次のように称賛している。『計画を実行するだけなら才能は必要でない。だが、エンリコは不慮の事態に直面した時にそれを十二分に活用する統治者に必須の特別な才能に恵まれている。』本作にはその他にも、ベネツィア共和国の歴史を通じて得られる多数の示唆に富む教訓に溢れている。

ベネツィア共和国の在り方から「自給自足が可能なうえに人口も少なく、国民の頭脳と意志だけが資源のようなこの国の歴史は、まったく、ありとあらゆる試練への対処の仕方」の歴史のようである(下巻229頁)」と表現し、しかし共和国の主戦ともいえる外交が誤断を犯し、ヨーロッパ全土を敵に回してしまった時は戒告のごとく「外交というものは、思っただけではならない時もある(下巻239頁)」と綴っている。

歴史から勇気と教訓を得たい時には

一読の価値がある作品である。



推奨する 文芸書(小説)

1. 人間の壁 上・中・下巻(新潮文庫)

著者: 石川達三(著)
発売日: 2001/8/17 2001/9/14 2001/9/14
出版社: 新潮社
定価: 本体907円+税
頁数: 382頁/430頁/414頁
ISBNコード: 978-4-10-101515-6
978-4-10-101516-3
978-4-10-101517-0

第一回芥川賞受賞作家で社会派作家として活躍した故・石川達三が佐枝組事件を基に執筆した自身最長の長編小説。

終戦後の昭和30年代初頭、すべてが混沌とした日本の中で、教育界も同じように迷走していた。地方自治体の財政は年とともに窮乏し、戦後の日本に跋扈する保守党政府はその赤字すべてを最も抵抗が弱いと考えられていた教育の部門にしわ寄せし、その波は教育予算の削減となって現れる。

S県の教育委員会は予算確保のために教員たちの昇給昇格を先延ばしにし、教員不足からし詰め学級が増える一方であるのにもあつさえ259名の子供を擁する人員整理を強行しようとする。

教育現場に対する不当な蹂躪に対し、教員たちが組織される各県の教員組合は巨大な権力者たちに立ち向かう。S県の教組は、正当なはずの権利を賦与させるために、有給休暇制度を利用して合法的な休暇闘争を開始するが、政府与党はおろか、教育委員会やPTA、一般大衆までもがそれを教育現場の放棄とみなし痛烈に非難する。教育に混乱を生み出しているのは紛れもなく政府であるのにも拘わらず。

激動の時代に民主教育の定着と児童たちの健全な成長を切に願う教員たちの、実際に日本であった闘いを一小学校女性教員、志野田(後に離婚して尾崎)ふみ子を中心として架空の設定で描いた作品。

日本において、国の礎となる初等・中等教育に対する蹂躪が公然と行われていたことに驚きを憶えるし、それに抵抗するために四面楚歌になりながらも奮闘する教組や教員たちの志に感動する。弱者が強者に立ち向かう勇気と強さと弱さと理不尽さを考えさせられるリアリズム作品。



推奨する 音楽

1. Time of your life (Good riddance)

Green day
レーベル: Reprise / Wea

「Basket case」や「Minority」、「American idiot」などでアメリカを代表するパンクロックバンド、Green dayの2ndアルバム「Nimrod」(1997年)に収録された、パンクとは程遠い抒情的で静かな作品。ほとんどのライブで最後に演奏される。そのメロディはもちろんのことながら、推奨したい最たる理由は、メッセージ性に溢れたその歌詞である。私はこの曲と出会った中学生の頃、その歌詞に感動して以来、迷ったり落ち込んだりする度にこの曲を何度も聴いてきた。私を最も救ってくれた曲である。

人生は誰しも転機の連続で、自分で道を選択したとしても、その後、抗いがたい力学によって思わぬ場面に出会うことばかりである。この曲は、そんな思うようにいかないことも実は用意された活躍の場であるということ教えてくれ、沈んだ時に静かに元氣や勇気を与えてくれる。

なおTime of one's lifeとは、一生に一度の楽しい時間という慣用句であり、Good riddanceとは、厄介払いという意味である。一番の歌詞を和訳と共に以下に引用したい。

Another turning point, a fork stuck in the road.

また分岐点、行き先が二つに分かれて立ち往生

Time grabs you by the wrist, directs you where to go.

でも時があなたの手をつかんで、行くべき場所へ連れて行ってくれる

So make the best of this test, and don't ask why.

だからこの試練にベストを尽くせ、そしてなぜだか問うな

It's not a question, but a lesson learned in time.

これは問いかけではない、その瞬間にしか学べない教訓なんだ

It's something unpredictable, but in the end it's right.

それは予想できることではないけれど、最後には正しいとわかるはず

I hope you had the time of your life.

君が人生最高の楽しい時間を過ごせたことを祈っているよ

2. Don't look back in anger

Oasis
レーベル: エピックレコードジャパン

ノエル・ギャラガー(作詞作曲・ギター・ボーカル)とリアム・ギャラガー(リードボーカル)のギャラガー兄弟が中心メンバーで、イギリスを代表するロックバンドであるオアシスの言わずと知れた代表曲。グループの出世作

となる2ndアルバム「Morning glory」(1995年)に収録された4thシングル曲である。現在オアシスは、2009年に勃発したギャラガー兄弟同士のけんかから発展した不和により事実上解散状態にあり、多くの人から復活が望まれている。

Don't look back in angerは私には形勢がたいほどの名曲で、私のあらゆる音楽再生ソフトの再生回数ランキングが示すように、間違いなくこれまでの人生で一番聴いた曲である。これほど聴いて一切飽きないということに、この曲の不思議な力を感じる。

元気が出るという曲ではないが、これほどまでに聴いていて心地よい曲は他にない。私は幼少のころから、死後の世界に一曲しか持って行けなければ? という問いがあり、その答えは年齢と共に変わってきたが、現在はこの曲がそれである(ちなみに上のTime of your lifeは2010年まで該当曲だった)。

曲のイントロは、ノエルが同じ労働者階級出身で尊敬するジョン・レノンの名曲「イマジン」のオマージュであり、そのまま転用している。はかなさやむなしさを形容する意味深な歌詞が特徴的だが、作詞作曲したノエル自身は歌詞に特に大きな意味はないとしている。しかし、「Don't look back in anger 怒りに任せて振り返ってはだめだ」というそのタイトルが示すように、簡単ではない人生に対し示唆的な教訓に富む歌詞であると感じられる。

曲中に登場する謎の女性サリーは、この曲の中心に存在しているが、これは兄のギャラガーが作曲のために思いついた新しいメロディに適当に声を入れて歌っていると、それを聞いた弟のリアムにはサリーと聞こえたらしく、サリーとは誰のことなのか? と聞かれたことで、このサリーを思いついたそうだが、この曲はリードボーカルではないノエルが歌っている。完成時、曲の完成度が高まりに高く、ノエルはこの曲をリードボーカルのリアムではなく自身が歌うと主張したところ、同じく名曲に感じたリアムも自身が歌いたと対立し、兄弟げんかになったことは有名な話である。

蛇足になるが、よい論文が多数の論文や文献に引用されるように、よい曲は多数の人に歌われ、カバーされ、リミックスされる。場合によってはその改変が名曲に対する愚弄に等しい駄作にもなるが、また一方でその名曲の良さを最大限生かした秀逸なアレンジも散見される。その秀作を探し求めるのもまたおもしろい。

上記二曲にも、お薦めする秀作カバーが二作ずつあるので紹介したい。

Time of your life (Good riddance) (Green day)

1. Green Day - Time of Your Life (DJ Aquarius Remix)

<https://www.youtube.com/watch?v=qr8S0Sdhjo>

一般人によるリミックス。ボーカル

はない。クラブミュージック風にアレンジされているが、いやらしさはなく楽しい雰囲気になっている。オリジナルよりも少しメロディを長くアレンジしているのもポイントである。

2. Good Riddance - Time Of Your Life - Rhismic

アルバム Green days II (2004)

日本人ガールズバンドらによるGreen dayのトリビュートアルバムGreen days IIに収録。女性ボーカルによる新鮮な歌声と華やかなアレンジが秀逸。

Don't look back in anger (Oasis)

1. Oasis - Don't Look Back In Anger (LUCA BAZZ Remix - ITALIAN LENTO DANCE)

https://www.youtube.com/watch?v=nGM_J-B9vPo

ノエルによるボーカルおよび曲のテンポはそのままで、旋律だけをアレンジしたりリミックス。フィナーレのような荘厳な趣があり、オリジナルのよさをまったく損なわず感動的な印象に編曲している。

2. Oasis - Don't Look Back In Anger rmx

<https://www.youtube.com/watch?v=TMclAGitMcqw>

ベースとシンセサイザーをメインに編曲し、明るくポップなボーカルでアップテンポにカバーしている。本来のメロディは変わらないのに雰囲気が変わった違うのは新鮮である。

フィールドの生物学
カメフジツボの博物誌 (仮)
付着生物から知る海棲動物の生態と進化

COMING SOON

AUTHOR PROFILE

林 亮太 (はやし りょうた)
水産総合研究センター 西海区水産研究所 研究支援職員 / 長崎大学 経済学部 経済学部 非常勤講師 <http://sites.google.com/site/coronuloidea/>



AUTHOR RECOMMEND

推奨する 自然科学書

1. 鼻形類—新しく発見された哺乳類の構造と生活(平凡社ライブラリー)

著者: ハラルト シュテュンプケ(著)
日高敏隆, 羽田節子(訳)
発売日: 1999/05
出版社: 平凡社
頁数: 152頁
ISBNコード: 978-4-58-276289-1

ハイアイアイ群島に固有に棲息する哺乳類である鼻形類の生態および形態の記載論文をモノグラフとしてまとめたもの。鼻を巧みに使うハナアルキたちの生活史があざやかに描かれる。

2. 生き物屋図鑑

著者: 盛口 満(著)
発売日: 2006/12
出版社: 木魂社
定価: 本体1700円+税
頁数: 282頁

ISBNコード: 978-4-8774-61003

研究者だけでなく、フィールドに棲息する様々な生きもの屋の生態を鮮やかに描く。生きもの屋図鑑2号には僕も掲載されるよう、がんばりたい。

3. フジツボ—魅惑の足まねき(岩波科学ライブラリー)

著者: 倉谷 うらら(著)
発売日: 2009/6/24
出版社: 岩波書店
定価: 本体1500円+税

頁 数: 118頁
ISBNコード: 978-4-00-007499-5

世にフジツボブームを巻き起こした伝説的書籍。執筆段階では僕およびカメラフジツボが登場する章があったのだけど、そこだけやたら暑苦しくなってしまうため編集で一章丸ごと削除されてしまったののことで著者よりうかがった。カメラフジツボ本もこの本を超えることを目指したいが果たして。

📖 推奨する 人文社会書

1. 努力する人間になってはいけない —学校と仕事と社会の新人論

著 者: 芦田宏直(著)
発売日: 2013/9/2
出版社: ロゼッタストーン
定 価: 本体2800円+税
頁 数: 496頁
ISBNコード: 978-4-947767-12-7

努力主義が目標達成に対してどれだけ

不毛であるかなど、あらゆる世界における普遍的な指針を示している。

📖 推奨する 文芸書(小説)

1. 冬の鷹(新潮文庫)

著 者: 吉村 昭(著)
発売日: 1976/12/2
出版社: 新潮社
定 価: 本体630円+税
頁 数: 361頁
ISBNコード: 978-4-10-111705-8

『解体新書』を翻訳した前田良沢と杉田玄白の学者としての生きざまの違いを描く。研究者としてどう生きるか、一つの指針になるようなならないような。

🎵 推奨する 音楽

1. Goodbye Mr. MacKenzie(アルバム)

Goodbye Mr. MacKenzie
レーベル: Capitol

アルバムタイトルと同じ名前のバンド名を持つスコットランド出身の男4人、女2人の6人組バンド。現Garbageのボーカル Shirley Manson がバックコーラスとして参加していた。中学生のときに秋葉原の中古CD屋でジャケ買いして以来20年近くずっと聴いているが、このバンドが好き、どころか存在を知っている人にさえ会ったことがない。YoutubeにPVやライブ映像が残されているので是非ご覧いただきたい。

2. 救済の技法(アルバム)

平沢進
レーベル: 日本コロムビア

最初は聴ききれないかもしれないが、慣れてしまうと抜けられないヒラサワの世界。やはりyoutubeにPVがあるのでぜひ動画でヒラサワの世界を体験していただきたい。

COMING
SOON

フィールドの生物学

身近な魚の見知らぬ世界 (仮)

記載的自然史研究のすすめ

AUTHOR PROFILE 中島 淳 (なかじま じゅん)

福岡県保健環境研究所 博士(農学)

<http://kuromushiya.com/koushiki/top.html>



AUTHOR RECOMMEND

📖 推奨する 自然科学書

1. 稚魚を求めて—ある研究自叙伝 (岩波新書)

著 者: 内田恵太郎(著)
発売日: 1964/1/1
出版社: 岩波書店
頁 数: 207頁

朝鮮総督府や九州大学で魚類生活史の記載的研究を行った伝説的な魚類学者の自伝。特に戦前から戦後にかけての混乱期でのエピソードが印象的。生き物好き系研究者に勇気を与える一冊。

📖 推奨する 人文社会書

1. 鳥山石燕 画図百鬼夜行

著 者: 高田 衛、稲田篤信、田中直日
発売日: 1992
出版社: 図書刊行会
定 価: 本体7600円+税
頁 数: 348頁
ISBNコード: 978-4-336-03386-4

現在の日本の妖怪の基礎を形作った江戸時代の画家・鳥山石燕の妖怪作品をまとめた本。解説も簡潔かつ的確で、読み応えがある。妖怪のいられる場所は、生物がたくさん棲んでいられる場所だと気づかされる。

🎵 推奨する 音楽

1. Tell Your World

初音ミク
レーベル: トイズファクトリー

合成音声を持つバーチャルアイドルが創造的でありたい人々を応援してくれて。まさに21世紀ならではの楽曲。

2. ヴェル・エール—空白の瞬間の中で

MALICE MIZER
レーベル: 日本コロムビア

日本が誇るヴィジュアル系ロックバンド文化の完成形のひとつ。映像とあわせてお楽しみ頂きたい。



海のがっこう 教師向け海辺の観察会企画マニュアル

鹿谷 法一、佐藤 寛之(編著)
ISBN978-4-486-01976-3 C1040
B6判 224頁 定価(本体1600円+税)

内容：本書は沖縄のサンゴ礁の海岸を例として、子どもたちを海に親しませ、海辺で遊ばせつつ、海に対する眼を開かせ、科学的なセンスの初歩を指導したい「先生」のために作られている。同時に海の楽しさを伝える本でもある。

AUTHOR
PROFILE

鹿谷 法一(しかたに ほういち)

しかたに自然案内所属
<http://www.shikatani.net/>



AUTHOR RECOMMEND



推奨する 自然科学書

1. クスター海の百科(全20巻)

著者：ジャック＝イブ・クスター(著)
発売日：1976/2
出版社：平凡社
定価：本体85437円+税
頁数：152頁
ISBNコード：978-4-58252000-2

幅広く、海を知るための基本となる本です。私はこれで海洋学の世界を知りました。人それぞれ、海への興味や知識は異なります。でも、陸地の2倍以上も広くて深い水の世界を正しく理解するには、それなりの基礎知識が必要。そして何より、海を知る事は、地球そのものを知る事に他なりません。



推奨する 人文社会書

1. 木に学べー法隆寺・薬師寺の美(小学館文庫)

著者：西岡常一(著)
発売日：2003/11/7
出版社：小学館
定価：本体552円+税
頁数：288頁
ISBNコード：978-4-09-405851-6

大工のこと、道具のこと、木の心のこと。ヒトとして自然の中で生きる心構えが、スッと理解できる的確な言葉で語られています。でも、自然を見る目が無ければ、語られた意味はわからないかも。



推奨する 文芸書(小説)

1. ショートショート1001(全3冊)

著者：星新一(著)
発売日：1998/12/23
出版社：新潮社
定価：本体32400円+税
ISBNコード：978-4-10-319426-2

最初の1行で目の前に情景が浮かぶ。最後の数行で、経験不足と頭の固さを思い知らされる。自分が思い描く仮説から抜け出し、事実を素直に受け入れて柔軟に発想し、新たな可能性を見つける。科学的思考の楽しさと危うさがここにあります。



推奨する 音楽

1. ベスト・オブ・ブルー・アーム・ストロング

ホエン・ユー・スマイル
レーベル：ユニバーサル ミュージック クラシック

自然なリズムでリラックスしたいときに、大きなスピーカーで聞くと気持ちいい。お買い得な Definitive もおすすめ。

2. Inventions & Sinfonias

Bach

顕微鏡下での解剖、データ処理、テキスト編集、スケッチへの墨入れなど、神経を使う作業のBGMに。



ダーウィンフィッシュ

ダーウィンの魚たち A～Z

ダニエル・ポーリー (著) / 西田 睦、武藤 文人 (訳)

ISBN978-4-486-01883-4 C3045

B5判 476頁 定価(本体6200円+税)

内容：ビーグル号航海でダーウィンは未知の魚たちに出会った。ガラパゴス島の鳥たち＝ダーウィンフィンチが彼に進化論を着想させたように、魚たちもまた彼の進化論の糧となっていた。今も博物館に眠るダーウィンが採集した魚たち、120年の時を経て、ダーウィンの魚たち＝ダーウィンフィッシュがよみがえる！

AUTHOR
PROFILE

武藤 文人 (むとう ふみひと)

東海大学海洋学部 准教授

http://sdb01.scc.u-tokai.ac.jp/subject/f_bio/teacher/muto.php



AUTHOR RECOMMEND



推奨する 自然科学書

1. いかにして問題を解くか

著者：ポリヤ・ジェルジ (著) / 柿内賢信 (訳)

発売日：1975/4

出版社：丸善出版

定価：本体1500円+税

頁数：264頁

ISBNコード：978-4-621-04593-0

32年前に購入し、当時はよく読んでいた。当方の調査の無意識下の基本となっていることに最近気がついた。



推奨する 人文社会書

1. 調査されるという迷惑

—フィールドに出る前に読んでおく本

著者：宮本常一、安溪遊地 (著)

発売日：2008/3

出版社：みずのわ出版

定価：本体1000円+税

頁数：118頁

ISBNコード：978-4-944-17354-9

数カ月前に購入。結果としてフィールド調査にでた後に読んでしまっている。今後大いに参考にしたい。



推奨する 文芸書(小説)

1. アルジャーノンに花束を

著者：ダニエル・キイス (著) / 小尾美佐 (訳)

発売日：1999/10/7

出版社：早川書房

定価：本体820円+税

ISBNコード：978-4-15-110101-4

31年前に購入。人は皆、違う自分になることを欲しながら、同時に元の自分になることをおそれ、かつ欲している。自分について言えば、幼少時から転園・転校を繰り返したが、そのたびに自分(の一部)が違う何かになったり、また、いつかの何かに戻ったりしていた感覚があった。



推奨する 音楽

1. Tears

SEAMO

レーベル：BMG JAPAN

2. 生きていてもいいですか

中島みゆき

レーベル：ヤマハミュージックコミュニケーションズ

3. 北島三郎

Tears は10年前、ドライブ中にラジオで偶然聴いた曲。その後一度も聞いていなかったが、数ヶ月前、歌詞の一部をネット検索して曲名等が判明し、その他の曲も買ったCDを購入。中島みゆきの曲は、27年前、駅前で落ちていたカセットテープ群を拾ったのがきっかけ。聞いてみた1曲目が「うらみます」だったため、「いやになって捨てたのでは」と誤解もしたが、精神修行と思って何度も聞くうちに癖になる。北島三郎の曲はカラオケで歌ってしまう。42年前、大伯母(母方の祖父の姉)と彼の歌唱法について小さな議論をしたことがきっかけ。

編集者+1
(IN)

 推奨する **自然科学書**

1. 日本の渚―失われゆく海辺の自然
(岩波新書)

著 者：加藤 真(著)
発売日：1999/4/20
出版社：岩波書店
定 価：本体740円+税
頁 数：220頁
ISBNコード：978-4-00-430613-9

日本の渚を景観する。生態系システム機能と生物の多様性を解き明かし、渚の保護を呼びかける。1999年刊行。その後の渚はどうなっているのか。なぜか編集者の私にとってタイトルの余韻が残る一冊だ。現在品切れ中。

 推奨する **人文社会書**

1. 赤い大公―ハプスブルグ家と東欧の
20世紀

著 者：ティモシー・スナイダー(著)
池田年穂(訳)
発売日：2014/4/25
出版社：慶應義塾大学出版会
定 価：本体4600円+税
頁 数：512頁
ISBNコード：978-4-7664-2135-4

「ハプスブルグ、再興の夢 ヒトラーとスターリンのはざまを生きたヴィルヘルム・フォン・ハプスブルクの数奇

な運命と20世紀ヨーロッパ史の深暗部を鮮やかに描ききる不世出の歴史家、ティモシー・スナイダーの傑作」と帯にある。19世紀の華麗で虚飾の世界を描く。


最近、最も「読み物の匂い」を感じさせてくれた本。読み応えのある本だ。今のウクライナの事態もわかる。付録もいよいよ、人物略伝がついていて親切。

 推奨する **文芸書(小説)**

1. 『大菩薩峠』全20巻(ちくま文庫)

著 者：中山介山(著)
出版社：筑摩書房

ニヒルな剣士机竜之介の生き様を描く。約三十年にも渡り書かれた長編時代小説。著者の死とともに未刊。幕末を舞台にしたロードムービー、活劇の世界。

 推奨する **音楽**

編集の仕事をするのは金曜の夜か土曜の夜だ。蒸し暑い今時は、ポップ・マーリーやスワンプロック、ブラックミュージックを聴き、汗でべとついた手で校正紙をめくっていたが、最近はやは心の経年変化なのか、変わってきた。

1. Songs for Drella

Lou Reed & John Cale
レーベル：RCA

昨年亡くなったルー・リードがジョン・ケールとともに制作したアンディ・ウォーホルへの追悼アルバム。シンプルな曲調で、フィクションなのかノンフィクションなのか分からないが、クールに、時に熱く歌っている。

2. Closing Time

Tom Wait
レーベル：Elektra / Wea

トム・ウェイツ。1973年の24歳の1stアルバム。酔いどれのしゃべりがた声ではない。1曲目はイーグルスがカバーしたOl' 55。ラストはインストのClosing Timeで終わる。サウンドは基本シンプルなピアノの弾き語りでジャジーな仕上がりになっている。

3. Ballrooms of Mars

T. Rex

僕がロックに目覚めたころ、既にビートルズはなかった。グラムロックが全盛だった。この曲は1972年のThe Sliderの中のかっこいい一曲だ。宇多田ひかるがラジオ番組kuma power hour with utada hikaru でお気に入り曲として番組のラストナンバーとしてかけていた。

4. The Inflated Tear

Roland Kirk
レーベル：ワーナーミュージック・ジャパン

マイルスのカインド・オブ・ブルー、コルトレーンの至上の愛、エバンスのワルツ・フォー・デビイ、これらは間違いなくジャズの名盤だ。僕はローランド・カークの「溢れ出る涙」も名盤のひとつだと思っている。3本のホーンを同時に吹くとか、鼻でフルートを吹くとかでゲテモノの扱いされがちだが、彼の作る曲は心に響き、主張がある。私の葬送曲はアルバムの1曲目のThe Black and Crazy Bluesと決めている。

5. Hand to Hand

Dannie Richmond, George Adams,
Don Pullen
レーベル：Soul Note Records



30年も聴き続けている珠玉のジャズアルバム。

6. Word

The Tony Rich Project
レーベル: BMG ビクター

自作自演、プロデュース。本アルバムがデビューアルバムでグラミー受賞。まったりした流れ、リラックスできる。仕事中のBGM。

編集者+1 (TK)

📖 推奨する 自然科学書

1. 一般気象学

著者: 小倉義光(著)
発売日: 1999/4
出版社: 東京大学出版会
定価: 本体2800円+税
頁数: 320頁
ISBNコード: 978-4-13-062706-1

十数年前、とある学会で手にし、衝動買いした一冊。身近な気象現象から天気予報までがまとめられ、気象学の不朽の名著とされている。当時、気象予報士の資格取得を目指そうと本気で考えていたことが思い出深い。

2. ろうそくの科学

著者: マイケル・ファファデー(著)
三石 巖(訳)
発売日: 2012/6
出版社: 角川書店
定価: 本体555円+税
頁数: 206頁
ISBNコード: 978-4-04-100284-1

分野としてここで扱う是非は置いて、おすすめの一冊として入れておく。かのマイケル・ファファデーが、クリスマスにろうそくを手に、子どもたちにおこなった講義録。この設定だけでわくわくしてしまう。さらに現代社会では身近なとは言えないが、私たちになじ

みのあるろうそくをテーマに、燃焼の仕組みにとどまらず、自然の法則までを解き明かしていく。

📖 推奨する 人文社会書

1. 電車の運転—運転手が語る鉄道のしくみ(中公新書)

著者: 宇田賢吉(著)
発売日: 2008/5
出版社: 中央公論新社
定価: 本体840円+税
頁数: 288頁
ISBNコード: 978-4-12-101948-6

某編集者に触発されてその日の帰宅途中に購入した本。元JRの運転手が電車の運転の手法から、過剰なダイヤを支える運行システム、駅の中で目にする信号や標識の仕組みまでを紹介している。これを読めば鉄っちゃんであっても電車や駅の見え方がきっと変わるはず。

📖 推奨する 文芸書(小説)

1. 氷点(上・下)(角川文庫)

著者: 三浦綾子(著)
発売日: 1982/1
出版社: 角川書店
定価: 本体691円+税
頁数: 364頁・368頁
ISBNコード: 978-04-143703-2
978-04-143704-9

タイトルの「氷点」は、どんなことがあろうともひたむきに生きる主人公が、自分の中の「原罪」に気づいたとき、はじめて心が凍るその瞬間を表しており秀逸。全体としてキリスト教の世界という「原罪」をテーマとしており重くシリアスであるが、本書の中で描かれる北海道旭川の情景(雪景色、見本林と美瑛川の湖畔)は、その重苦しさの中で自然の大きさを感じさせてくれる。

🎵 推奨する 音楽

1. 1996

Ryuichi Sakamoto
レーベル: フォーライフミュージックエンタ



テイメント

坂本教授によるピアノとチェロ・ヴァイオリンによるトリオ演奏。綺麗な旋律の向こうにモノクロの世界が浮かび、気分が穏やかに高揚する。「珠玉のアルバムの一つ」はけっして良いわけではないだろう。

岡西政典 推薦

岡西政典(おかにしまさのり)
京都大学フィールド科学教育研究センター 瀬戸臨海実験所
研究員(特別教育研究)

チャレンジャー号探検 近代海洋学の
幕開け
著者: 西村三郎(著)
出版社: 中央公論新社

イギリスの「チャレンジャー6世」
による世界初の大規模海洋調査(1872-
1876)の、背景から実施及びその成果
が当時の海洋生物学にもたらした影響
を、巧みな文章で詳細に書き上げた一
冊。(特に深海の)海洋生物学志望者へ
のお勧めしたい。

ウニ学
著者: 本川達雄(著)
出版社: 東海大学出版会

磯でみかけるウニ、ナマコ、ヒトデな
などの「棘皮動物」は、その知名度とは裏
腹に専門的に学べる本は少ない。本書
は、棘皮動物の水産資源としての人と
の関わりや、そのユニークな生物学的
側面を一般にもわかりやすく解説した
優れた専門書。

動物分類学の論理
著者: 馬波峻輔(著)
出版社: 東京大学出版会

生物学の基礎として重要でありながら
研究人口の少ない「分類学」の、近年に
なっている初めての「教科書」。動物分類
学の歴史、重要性、日本における研究
の現状が詳細に述べられており、動物
分類学を志す人へ推奨したい図書。

動物の系統分類と進化
著者: 藤田敏彦(著)
出版社: 裳華房

動物の分類学と系統学の教科書。動物
分類学の歴史や方法論だけでなく、近
年標準的な方法となりつつある分子系
統解析の理論や、地球上の動物の基本
的な体制の違いが、206頁に凝縮され
ている。動物の分類学、系統学、進
化学を学びたい人への推奨図書。

生き物の描き方—自然観察の技法
著者: 盛口満(著)
出版社: 東京大学出版会

「生物のスケッチ」に関する指南書。植
物、キノコ、昆虫、哺乳類、キノコ、
鳥類などの様々のスケッチの描画を通
じて、フィールドワークの基礎、自然
観察の意義、そしてその優れた方法と

しての「スケッチ」を学ぶことのできる
優れた教科書。

岸本圭子 推薦

蟻の自然誌
著者: バート・ヘルドブラー、エドワー
ド・O・ウィルソン(著)／辻和希、
松本忠夫(訳)
出版社: 朝日新聞社

アリの魅力が満載です。

生命の多様性 上・下巻(岩波現代文庫)
著者: エドワード・O・ウィルソン(著)
／大貫昌子、牧野俊一(訳)
出版社: 岩波書店

“生物多様性”とつく本はたくさんあり
ますが、真正正銘の本家です。写真や
挿絵も豊富で、多様性とは何かを楽し
く学べる一冊です。

フィンチの嘴—ガラバゴスで起きて
いる種の変貌(ハヤカワ・ノンフィク
ション文庫)
著者: ジョナサン・ワイナー(著)／桶
口広芳、黒沢令子(訳)
出版社: 早川書房

地道なフィールド調査が進化の証拠に
結びつくことを、喜びと感動をもって
教えてくれる本です。

生命の宝庫・熱帯雨林(NHKライブ
ラリー)
著者: 井上民二(著)
出版社: 日本放送出版協会

熱帯の魅力が詰まっています。今読ん
でも古いと感ぜさせない、熱帯研究者
にとっては、座右の書です。

日本の渚(岩波新書)
著者: 加藤真(著)
出版社: 岩波書店

自然に対する愛と畏敬の念を思い知ら
される一冊。これは文学です。

北村俊平 推薦

捕食者なき世界
著者: ウィリアム・ソウルゼンバー
グ(著)／野中香方子(訳)
出版社: 文藝春秋

生態系における頂点捕食者の重要性を
世界中の具体例に基づいて紹介して
います。2014年5月に文庫化されていま
すので、手に入りやすいと思います。

ねずみに支配された島(文春文庫)
著者: ウィリアム・ソウルゼンバー
グ(著)／野中香方子(訳)
出版社: 文藝春秋

「捕食者なき世界」と同じ著者。こちら
はヒトが持ち込んだネズミが侵入先の
生態系に及ぼす影響をさまざまな事例
に基づいて紹介しています。「捕食者な
き世界」とあわせて読みたい一冊です。

ドーデーの歌—美しい世界の島々か
らの警鐘(上・下)
著者: デイヴィッドクォメン(著)／
鈴木主税(訳)
出版社: 河出書房新社

島の問題を中心に生態学のさまざま
な概念を学ぶことができます。

熱帯雨林を観る(講談社選書メチエ)
著者: 百瀬邦泰(著)
出版社: 講談社

私をはじめ訪れた熱帯雨林であるボル
ネオ島のランピルの森で著者の百瀬
さん大変お世話になりました。その
ときの齊化以下の話題も含めて、東
南アジアの熱帯雨林を生態学的な視点
から紹介するだけではなく、そこに暮
らす人々やその保全についても著者の
独自の視点から語られています。

クマがあつたらどうするか—アイヌ民
族最後の狩人姉崎等
著者: 姉崎等、片山龍峯(著)
出版社: 筑摩書房

タイの熱帯雨林で調査中にツキノワグ
マに至近距離であった体験は今でも
忘れることができません。講義で必ず
学生に紹介する一冊です。

小松貴 推薦

狩蜂生態図鑑—ハンティング行動を写
真で解く
著者: 田仲義弘(著)
出版社: 全国農村教育協会

日本産狩人蜂の生態を克明に記録した
本で、見ることすら困難な珍しいハチ
が獲物を毒バリーで刺す瞬間の写真がた
くさん出てくる。撮影者の費やした時
間や苦勞が見て取れ、本を開いた瞬間
に写真家としての負けを認めざるを得
なかった。上には上がいることを思い
知らせてくれた一冊。欲を言うと、文
中の「狩蜂」という単語を全部「狩人蜂」
に置き換えてくれたら、もう何もう
ことなし。

図説H全書
著者: マルタン・モネスティエ(著)／

大塚博子(訳)

出版社: 原書房

初めから終いまで、徹頭徹尾ハエの語に終始した本。生態、人間との戦いの歴史、文学、果ては料理にいたるまで、ハエに関する話を多面的に紹介している。著者が専門家でないため、ところどころ不正確な記述はあるものの、異様で不思議なハエの世界にどっぷりと浸れる。「人が貧しくなるほど、ハエは凶暴になる」あたりのくだりは名言。

ハチとアリの自然史一本能の進化学

著者: 杉浦直人ほか(著)

出版社: 北海道大学出版会

主にフィールド調査に基づく、さまざまな種類のハチやアリに関する生態を紹介した本。その道の専門家たちが、一般向けにもわかりやすく面白い昆虫の生態をつづっている。狩人蜂の麻酔行動に関する詳細な記述など、最近の国内の一般向け書籍ではなかなか読めない。自然界の中で、ハチもアリも他のいろんな種類の生物と密接にかかわり生きているというのがよくわかる。

実物大巨大昆虫探検図鑑

著者: 山口進(著)

出版社: 岩崎書店

日本を代表する昆虫写真家が、文字通り世界中を飛び回って出会った巨大昆虫の写真集、ならびに冒険記。「本当に実物大か?」と思えるほどのサイズの昆虫写真が、実物大で載っており、素直に驚いてしまう。治安の悪い国で危険な目にあった話、発見困難な探すために現地の人と親しくなった話など、写真家自身の人との出会いのドラマにも注目。

アリたちとの大冒険—愛しのスーパーアリを追い求めて

著者: マーク・W・モフェット(著)/山岡亮平・秋野順治(訳)

出版社: 化学同人

ナショナル・ジオグラフィックなどに精密な微小昆虫の生態写真を載せている、野人のようなフィールドワーカーの本。世界各地のおもしろい生態を持つアリを、美しい写真で紹介している。危険な軍隊アリの撮影はもちろん、アリの巢内に入って撮ったかのような写真技術には舌を巻く。

椎野勇太 推薦

生物の形とバイオメカニクス

著者: スティーブン・A・ウェインライト(著)/本川達雄(訳)

出版社: 東海大学出版会

形に内包された機能がどのように発揮されるのかについて、生物にみられる円柱を題材に綴られています。形態と機能の双方向的な関係に気づかせてくれます。

零戦 その誕生と栄光の記録(角川文庫)

著者: 堀越二郎(著)

出版社: 角川書店

生物は遺伝的な背景を踏まえうえて進化する。零戦を生物、技術を遺伝的背景、当時のニーズを環境として置き換えると、話の構造が形態進化のプロセスと驚くほど類似しています。零戦誕生に向けた堀越氏の前適応はすばらしいです。

示準化石ビジュアルガイドブック化石凶鑑—地球の歴史をかたる古生物たち

著者: 中島礼、利光誠一(著)

出版社: 誠文堂新光社

およそ5億4000万年前から現在までに、多種多様な生物が進化・絶滅を繰り返してきました。そんな太古の世界を垣間見ることができるとはどんなに素晴らしい写真が掲載されていて、見ごたえ十分です。

せかいいち おおきなうち

著者: レオ・レオニ(著)

出版社: 好学社

すてきなイラストの絵本として位置づけられていますが、その実、「形態—機能—適応」の関係が端的かつ強烈に描画された機能形態学的専門書ともいえます。子供はもちろん、大人にぜひ読んでもらいたい一冊です。

流れの不思議—遊んでわかる流体力学のABC ブルーボックス

著者: 石綿良三、根本光正(著)

出版社: 講談社

流体を題材とした簡単な実験が紹介されています。児童層への自由研究で使えるくらいの専門性で、流体力学への興味を駆り立ててくれます。

鹿谷法一 推薦

科学者という仕事—独創性はどのように生まれるか(中公新書)

著者: 酒井邦嘉(著)

出版社: 中央公論新社

科学とは? 科学者とは? 研究の本質とは?

鼻行類 新しく発見された哺乳類の構造と生活

著者: ハラルト・シュテンブケ(著)

出版社: 思泉社

これこそ科学的な大発見! 検証はできないけれど……

盲目の科学者 指先でとらえた進化の謎

著者: ヒーラット・ヴァーメイ(著)

出版社: 講談社

「科学的な」視点は、いつでも私たちを驚かへと誘う。

サンゴ礁の渚を遊ぶ 石垣島川平渚

著者: 西平守孝(著)

出版社: ひるぎ社

野外で生き物と対話し、自然とうまく付き合うために。

森と海からの贈りもの 二人の「自然の使者」から子どもたちへ

著者: ジョーン・グドール、ジャック・T・モイヤー(著)

出版社: 阪急コミュニケーションズ

自然との付き合い方のお手本となる大人になろう。

千徳明日香 推薦

千徳明日香(せんくとくあすか)

京都大学フィールド科学教育研究センター 瀬戸臨海実験所 日本学術振興会 特別研究員(PD)

ヤモリの指から不思議なテープ

著者: 石田秀輝(監修)/松田素子、江口絵理(文)/西澤真樹子(絵)

出版社: アリス館

「自然に学んだすごい! 技術」というようなサブタイトルの通り、自然にひそむ驚く力が、地球と人類の未来を作る技術につながっていることがイラストとともに紹介されている。ヤモリの指の話だけでなく、蝶の羽、蜂の巣などの16のトピックスから構成されており、生物の知恵を借りると、地球に優しく、画期的なモノができることを示した新視点の科学書。イラストが多く、優しい解説は科学が苦手な人にもわかりやすく、手に取りやすい一冊である。

植物の奇妙な生活

電子顕微鏡で探る驚異の生存戦略

著者: ヴォルフガング・シュトゥッペー、ロブ・ケスラー、マデリン・ハーレー(著)/奥山雄大(監修)/武井摩利(訳)



出版社：創元社

電子顕微鏡を駆使した驚異の精細写真は美しく、まるで図鑑のような一冊。目を奪う写真だけでなく、花粉、種子、果実と植物の生存戦略を詳しく解説しており植物の入門書に適している。

パンダの親指—進化論再考 上・下巻 (ハヤカワ文庫NF)

著者：スティーヴン・ジェイ・グールド(著) / 桜町翠軒(訳)
出版社：早川書房

進化学者によるエッセイ集。パンダはなぜ6本の指を持っているのか、ミッキーマウスが可愛く悪役のモーターが憎たらしいのはなぜか、才気溢れる着想と楽しい話題をユーモアに富んだ語り口で解説する。専門的な内容から身近な話題まで幅が広く、一冊で多くの情報が得られる。

海底ごりごり地球史発掘 (PHPサイエンス・ワールド新書)

著者：須藤 斎(著)
出版社：PHP 研究所

科学掘削船上の研究生生活を快活に綴る。美しい珪藻の紹介、地球の気候さらに世界史にも大きな影響を及ぼした海洋大循環など、古生物学や地球史研究の魅力も取り上げる。科学者の日常を知るに適した一冊である。

植物の生存戦略—「じっとしている」という知恵」に学ぶ(朝日選書)

著者：[植物の軸と情報]特定領域研究 班(編)
出版社：朝日新聞社

「動物と植物どこが違うのか」、「葉の形を決めるもの」、「4億年の歴史を持つ維管束」などの10章がそれぞれ専門分野の研究者によって執筆されている。動かないということで静的に見られる植物だが、臨機応変な変化をなしとげ、実は動的でしたたかな生き方をしている。内容はやや専門性が高いが植物に対する見方が大きく変わる新視点の一冊。

中島 淳 推薦

山溪カラー名鑑 日本の淡水魚 改訂版

著者：川那部浩哉、水野信彦、細谷和海(編)
出版社：山と溪谷社

美しい写真が満載。バラバラとめくっているだけでも日本の淡水魚類の素晴らしい世界に浸れる。解説は一流の研究者が執筆しており、内容も深い。絶版なのが残念。

アリの巣の生きもの図鑑

著者：丸山宗利、小松 貴、工藤誠也、島田 拓、木野村恭一(著)
出版社：東海大学出版会

21世紀の日本の図鑑の中でも最もすばらしいもののひとつ。写真は美しく、解説もおもしろい。それまでまったく意識の及ばなかった異世界への扉を開いてくれる一冊。

ちいさないきもの—くらしとかいかた改訂版

著者：日高敏隆(監修) / 片岡照男、柴田彦彦、伊藤ふくお(著)
出版社：ひかりのくに株式会社

アメリカザリガニなどおなじみの生き物に加えて、フナムシやカブトエビなども詳しい飼育法を解説した本。飼育水槽のイラストがとても良い。

あじめ—アジメドジョウの総合的研究

著者：丹羽 彌(著)
出版社：大衆書房

その生涯を日本固有種アジメドジョウの研究に捧げた在野の研究者の集大成。行間からほとばしるアジメドジョウへの愛に胸が熱くなる一冊。絶版だが埋もれさせておくには惜しい名著。

稚魚を求めて—ある研究自叙伝 (岩波新書)

著者：内田恵太郎(著)
出版社：岩波書店

朝鮮総督府や九州大学で魚類生活史の記載的研究を行った伝説的な魚類学者の自伝。特に戦前から戦後にかけての混乱期における研究の様子はどれも印象的。

中島啓裕 推薦

擬態の進化—ダーウィンも誤解した150年の謎を解く

著者：大崎直太(著)
出版社：海游舎

一見、教科書のような体裁の本だが、そうではない。「自ら仮説を着想し、それを実証する」という筆者の研究過程も紹介されている。擬態という現象の魅力だけではなく、自然史研究自体の魅力が表現された素晴らしい本だと思う。

日本浪漫派批判序説(講談社文芸文庫)

著者：橋川文三(著)
出版社：講談社

戦前、日本浪漫派の保田與重郎の文に

「いかれた」という筆者が、自己批判の意味もこめて、日本浪漫派を批判的に論じている。自らの体験に根差した言葉の力強さを感じる。自然科学啓蒙書にはない魅力を備えた一冊。

天敵なんてこわくない—虫たちの生き残り戦略

著者：西田隆義(著)
出版社：八坂書房

ごく身近な自然の中に、普遍的な生態学につながる問いを見出してしまうのは、本当にすごい。

日本とは何か 日本の歴史(00)(講談社学術文庫)

著者：網野善彦(著)
出版社：講談社

自分たちが自明だと思っている概念も、歴史を丹念にひも解いてみると、いかに無根拠な思いこみにすぎないかを痛感させられる。膨大な資料の読み込みに裏打ちされた実証的な学問の凄味を感じた一冊。

捕食者なき世界(文春文庫)

著者：ウィリアム ソウルゼンバーク(著) / 野中香方子(訳)
出版社：文藝春秋

食肉目の生態的な役割を扱った日本語で読める数少ない本。読み物としても素晴らしい。

細 将貴 推薦

チェンジング・ブルー

著者：大河内直彦(著)
出版社：岩波書店

気候変動のメカニズムを追及する地球科学者たちの奮闘と現在を伝える一冊。

生物と無生物のあいだ(講談社現代新書)

著者：福岡伸一(著)
出版社：講談社

今に続く分子生物学の勃興と隆盛を手軽に学べる一冊。

進化—生命のたどる道

著者：カール・ジンマー、長谷川真理子、入江尚子(著)
出版社：岩波書店

進化生物学をヴィジュアル豊かに学べる一冊。

フィンチの嘴

著者：ジョナサン・ワイナー(著)
出版社：早川書房

現代進化生態学の金字塔であるダーウィンフィンチ研究のすべてを伝える優れたルポ。

生命は細部に宿りたまう

著者：加藤真(著)
出版社：岩波書店

見れども見えぬ、生物多様性の本質を照らす一条の光。

前野ウルド浩太郎 推薦

シロアリ 女王様、その手がありましたか！(岩波科学ライブラリー)

著者：松浦健二(著)
出版社：岩波書店

「そんなことしていたのか!!」知的興奮の連続がここにある??

カメムシはなぜ群れる?—集合離散の生態学

著者：藤崎憲治(著)
出版社：京都大学学術出版会

知的に虫の謎を解く昆虫記??

砂の魔術師アリジゴク—進化する捕食行動(中公新書)

著者：松良俊明(著)
出版社：中央公論新社

「攻め」の待ち伏せが明らかに??

わたしのウナギ研究

著者：海部健三(著)
出版社：さえら書房

ウナギの謎を探る。

ときめき昆虫学

著者：メレ山メレ子(著)
出版社：イーストプレス

虫を見る目が変わるはず。

松林尚志 推薦

野生のイリオモテヤマネコ

著者：安間繁樹(著)
出版社：汐文社

ゴリラ探検記(カッパブックス)

著者：河合雅雄(著)
出版社：カッパブックス

旅をする木(文春文庫)

著者：星野道夫(著)
出版社：文藝春秋

青春を山に賭けて(文春文庫)

著者：植村直己(著)
出版社：文藝春秋

コン・ティキ号探検記 現代ノンフィクション全集16

著者：トール・ハイエルダール(著)
出版社：筑摩書房

全て、自分に偽り無く生きることの素晴らしさを教えてください。

丸山宗利 推薦

山と雲と蕃人と—台湾高山紀行

著者：鹿野忠雄(著)
出版社：文遊社

未開だった戦前の台湾奥地を調査した博物学者の調査の記録。私が最も憧れる日本の研究者である。現代にあってこれ以上の冒険はありえるのだろうか。著者は戦時中のボルネオで調査中に消息を絶ったが、そのあとに彼以上の博物学者は現れていない。

保全生態学入門—遺伝子から景観まで

著者：鷲谷いつみ、矢原徹一(著)
出版社：文一総合出版

環境問題と向き合うとき、科学的な基本を知らないと、簡単に誤った解釈をしてしまうことがある。生物の保全を考えたときに読んでおきたい最上の入門書。

学名論—学名の研究とその作り方

著者：平嶋義宏(著)
出版社：東海大学出版会

生物の学名には奥深い物語があり、学名の意味がわかると、生物との付き合いがさらに面白くなる。著者の学名に関する書籍は数多くあるが、本書は読み物としても手に取りやすく、一般的な学名の意味を調べるにも十分な内容である。

アリの背中に乗った甲虫を探して—未知の生物に憑かれた科学者たち

著者：ロブ・ダン/田中敦子(著)
出版社：ウェッジ

リンネに始まり、未知の生物を探した数々の研究者たちの物語。一見、夢のある、新種発見の裏側にある泥臭くもおもしろい出来事がたくさんあった。ちなみに本書の題にある甲虫は私の専門で、「アリの巣をめぐる冒険」のほう詳しく。

昆虫のひみつ(学研まんが 新・ひみつシリーズ)

著者：岡島秀治、熊谷さとし(著)

出版社：学習研究社

昆虫の好きな子供が多く、そして昆虫に関する児童書が多いのが、日本の素晴らしい点である。私も子供の頃、本書の35年前の版を楽しく読んだ。監修者が変わり、より正確に、装いも新たに登場した。小難しい本もいけれど、大人になってこういう本を見るのもまた新鮮である。

武藤文人 推薦

いかにして問題をとくか

著者：G. ポリア(著)/柿内賢信(訳)
出版社：丸善

推定による調査と研究の基本書。示唆に富む内容。じわじわきます。

動物生理学—環境への適応

著者：クヌート シュミット=ニールセン(著)

沼田英治、中嶋康裕(監訳)
出版社：東京大学出版会

動物生理学の網羅的教科書。1冊あると虎の巻的に役立つ。

生態進化発生学—エコ・エボ・デボの夜明け

著者：スコット F. ギルバート・デイビッド・イーベル(著)/正木進三、竹田真木生、田中誠二(訳)

出版社：東海大学出版会

注目分野の広範な内容の教科書。生物の驚異を堪能できる。

生物系統地理学—一種の進化を探る

著者：ジョン C. エイビス(著)/西田睦、武藤文人(監訳)/馬淵浩司、向井貴彦、野原正広(訳)

出版社：東京大学出版会

生物多様性と進化に興味のある方々には是非読んでいただきたい。訳者ら一同の汗の結晶でもある。

ダーウィンフィッシュ—ダーウィンの魚たち A-Z

著者：ダニエル ポーリー(著)/西田睦、武藤文人(訳)

出版社：東海大学出版会

海洋生物学の万能人ポーリー氏、渾身の一冊。さかなとダーウィン氏とポーリー氏、3者の奇跡の邂逅。

『フィールドの生物学』+α 掲載書目一覧

推薦者	書名/著者名/出版社
岡西政典	『チャレンジャー号探検—近代海洋学の幕開け』/西村三郎/中公新書 『ウニ学』/本川達雄/東海大学出版会 『動物分類学の論理—多様性を認識する方法』/馬渡峻輔/東京大学出版会 『動物の系統分類と進化』/新生命科学シリーズ/藤田敏彦/裳華房 『生き物の描き方：自然観察の技法』/盛口満/東京大学出版会
川田伸一郎	『ダーウィン以来 進化論への招待』/S・J・グルード/早川書房 『文明の中の博物学 西欧と日本』上・下巻/西村三郎/紀伊国屋書店 『コインロッカーベイビーズ』/村上龍/講談社文庫
岸本圭子	『人体 失敗の進化史』/遠藤秀紀/光文社新書 『美人論』/井上章一/朝日文芸文庫 『文学部唯野教授』/筒井康隆/岩波現代文庫 『生命の多様性』上・下巻/エドワード・O・ウィルソン/岩波現代文庫 『嘘の自然誌』/ハート・ヘルドブラー/朝日新聞社 『日本の渚』/加藤 真/岩波書店 『フィンチの嘴』/ジョンサン・ウイナー/早川書房 『生命の宝庫・熱帯雨林』/井上民二/日本放送出版協会
北村俊平	『週刊朝日百科 動物たちの地球シリーズ 109号 110号』 『火の賜物 ヒトは料理で進化した』/リチャード・ランガム/NTT出版 『ハーバード白熱日本史教室』/北川 智子/新潮社 『捕食者なき世界』/ウィリアム・ソウルゼンバーク/文藝春秋 『ドードーの歌—美しい世界の島々からの驚鐘』上・下巻/デイヴィット・クォメン/河出書房新社 『熱帯雨林を観る』/百瀬邦泰/講談社 『クマにあつたらどうするか—アイヌ民族最後の狩人姉崎等』/姉崎 等/片山龍峯/筑摩書房 『ねずみに支配された島』/ウィリアム・ソウルゼンバーク/河出書房新社 『風が強く吹いている』/三浦しん/新潮文庫
小池伸介	『Uの時間ネズミの時間』/本川達雄/中央公論社 『野生のうたが聞こえる』/アルド・レオポルド/講談社 『デルス・ウザー 沿海洲探検行』/アルセーニエフ/平凡社
小松 貴	『狩猟生態図鑑—ハンティング行動を写真で解く』/田中義弘 全国農村教育協会 『猫捕—南方熊楠の生涯』/水木しげる/角川書店 『アート・ア・ライブ10番デットエンド』/橋 公司/ファンタジア文庫 『図説 ハエ全書』/マルタン・モネステイエ/原書房 『ハチとありの自然史・本能の進化学』/杉浦真人/北海道大学出版会 『実物巨大昆虫探検図鑑』/山口 進/岩崎書店 『アリたちとの大冒険』/マーク・W・モフェット/化学同人
佐藤寛之	『帆船バウンティ号の反乱』/B・ダニエルソン/朝日新聞出版 『南太平洋物語 キャプテン・クックは何を見たか』/石川栄吉/力富書房 『毛皮と人間の歴史』/西村三郎/紀伊国屋書店 『日本の知恵ヨーロッパの知恵』/松原久子/三笠書房 『銃病原菌 鉄』上・下巻/ジャレット・ダイアモンド/草思社 朝日選書 588 『リンネとその使徒たち探検博物学の夜明け』/西村三郎/朝日新聞出版 『スパイス、爆薬、医薬品—世界史を変えた17の化学物質』/J・パーレサン/中央公論新社
椎野勇太	『形を読む—生物の形態をめぐって 新装版』/養老孟司/培風館 『デザインにせむ(美しさ)の法則』/木 全賢/ソフトバンククリエイティブ 『夢十夜』/夏目漱石/岩波書店 『生物の形とバイオメカニクス』/ステイファン A ウェンライト/東海大学出版会 『零戦—その誕生と栄光の記録』/堀越二郎/角川書店 『示準化石ビジュアルガイドブック化石図鑑』/中島礼 他/誠文堂新光社 『せかいいちおおきなうち』/オ・レオニ 好学校 『流れる不思議』/石綿良三/講談社
鹿谷法一	『フット—海の百科』全20巻/ジャック・イブ・クスト—平凡社 『木に学ぶ—法隆寺・薬師寺の美—』/西岡常一/小学館 『ショート・ショート1001』全3冊/星 新一/新潮社 『森と海からの贈り物』/ジャック・モイヤー 阪急コミュニケーションズ 『科学者という仕事』/酒井邦嘉/中公新書 『鼻行類—新しく発見された哺乳類の構造と生活』/ハラルト・シュテンパケ/思泉社 『盲目の科学者—指先でとらえた進化の謎』/ヒューレット・ヴァーメイ/講談社 『サンゴ礁の渚で遊ぶ—石垣島川平湾』/西平孝/ひびき 『森と海からの贈りもの—二人の「自然の使者」から子どもたちへ』/ジェーン・グルード、ジャック・モイヤー/阪急コミュニケーションズ
千徳明日香	『ヤモリの指から不思議なテラ』/松田葉子/アリス館 『植物の奇妙な生活』/ロブ・ケスラー/創元社 『海底ざりざり地球史発掘』/PHP サイエンス・ワールド新書/須藤 斎/PHP研究所 『植物の生存戦略—「じっとしているという知恵」に学ぶ』/『植物の軸と情報』特定領域研究班/朝日新聞社 『バングラの類指—進化論再考』/ステイファン・ジェイ・グルード/早川書房
中島 淳	『稚魚を求めて—ある研究員自叙伝』/内田恵太郎/岩波書店 『鳥山石燕 画図百鬼夜行』/高田 衛・稲田篤信・田中直日/国書刊行会 『日本の淡水魚 改訂版』/川那部浩哉ほか/山と溪谷社 『アリの巢の図鑑』/丸山宗利・小松真ほか/東海大学出版会 『ちいさないきもの—くらくらとかいかた』/日高敏隆/ひかりのくに 『あじめ—アジメドジョウの総合的研究』/丹羽 彌/大衆書房 『稚魚を求めて—ある研究員自叙伝』/内田恵太郎/岩波書店
中島啓裕	『生き物たちは3/4が好き 多様な生物界を支配する単純な法則?』/ジョン・ホイットフィールド/化学同人 『擬態の進化—ダーウィンも誤解した150年の謎を解く』/大崎直太/海游舎 『天敵なんてこわくない』/西田隆義/八坂書房 『捕食者なき世界』/ウィリアム・ソウルゼン/文春文庫 『日本とは何か 日本の歴史(00)』/網野善彦/講談社 『日本浪漫派批評序説』/橋川文三/講談社 『城』/カフカ/白水社
林 亮太	『鼻行類—新しく発見された哺乳類の構造と生活』/ハラルト・シュテンパケ/平凡社 『生き物屋図鑑』/盛口満/木魂社 『フジツボ—魅惑の足まねき』/倉谷うらら/岩波書店 『努力する人間になつてはいけない』/芦田宏直/ロゼッタストーン 『冬の鷹』/吉村 昭/新潮社
細 将貴	『チェンジング・ブルー—気候変動の謎に迫る』/大河内直彦/岩波書店 『神々の山嶺』/夢 枕蓑/集英社 『生物と無生物のあいだ』/福岡 岡一郎/講談社 『生命は細部に宿りたまう』/加藤 真/岩波書店 『フィンチの嘴』/ジョンサン・ウイナー/早川書房 『進化—生命のたどる道』/カール・ジンマー/岩波書店 『近代日本の科学体制』/廣重徹/中央公論新社
前野ウルド 浩太郎	『ときめき昆虫学』/メレシメレ子/イースト・プレス 『AV女優』の社会学 なぜ彼女たちは鏡舌に自らを語るのか/鈴木涼美/青土社 『フロアリー—女王様その手がありましたか』/松浦健二/岩波書店 『カメシはなぜ群れる?—集合離散の生態学』/藤崎竜司/京都大学術出版会 『砂の魔術師アリゾゴ—進化する捕食行動』/松浦俊明/中公新書 『わたしのウナギ研究』/海部健三/さえら書房 『小説上杉鷹山』/童門冬二/集英社
松田一希	『砂糖の世界史』/河北 稔/岩波書店 『スポーツニクの恋人』/村上春樹/講談社 『オオカミよ なげなく』/ファーレイ・モウワット/紀伊国屋書店
松林尚志	『野生のイリオモテヤマネコ』/安間繁樹/汐文社 『コン・ティキ号探検記』/トール・ハイエルダール/筑摩書房 『ゴリラ探検記』/河合雅雄/光文社 『青春を山に賭けて』/植村直己/文春文庫 『旅をする木』/星野道夫/文芸春秋
丸山宗利	『生命は細部に宿りたまう—ミクロバクテリアの宇宙』/加藤 真/岩波書店 『蜜川・泥の河』/宮本 輝/新潮社 『山と雲と番人—台湾高山紀行』/鹿野忠雄/文遊社 『保全生態学入門—一遍伝子から景観まで』/鷲谷いづみ/文—総合出版 『学名論—学名の研究とその作法』/平嶋義宏/東海大学出版会 『アリの背中に乗った甲虫を探して—未知の生物に憑かれた科学者たち』/ロブ・ダン/ウェッジ 『昆虫のひみつ』/学研まんが 新・ひみつシリーズ/岡島秀治/学習研究社
武藤文人	『いかにして問題を解くか』/ボリア・G・丸善出版 『調査されるという迷惑』/宮本常一/みずのわ出版 『アルジャーノンに花束を』/ダニエル・キイス/早川書房 『動物物理学—環境への適応』/クヌート・シュミット・ニルセン/東京大学出版会 『生態進化発生学』/スコット Fギルバード/東海大学出版会 『生物系統地理学』/ジョン・Cディビス/東京大学出版会 『ダーウィンフィクション』/ダニエル・ポーリー/東海大学出版会
編集者 プラス	『日本の渚』加藤 真/岩波書店 『赤い大谷—ハプスブルグ家と東欧の20世紀』/ティモシー・スナイダー/慶應義塾大学出版会 『大菩薩峠』全20巻/中山介山/筑摩書房 『一般気象学』/小倉善光/東京大学出版会 『ろうそくの科学』/マイケル・ファッファデー/角川書店 『電車の運転—運転手が語る鉄道のしくみ』/宇田賢吉/中央公論新社 『氷点』上・下巻/三浦綾子/角川書店

今を生きる

東日本大震災から明日へ！復興と再生への提言

- | | |
|---------|-------------|
| 1 人間として | 座小田豊・尾崎彰宏 編 |
| 2 教育と文化 | 水原克敏・関内 隆 編 |
| 3 法と経済 | 稲葉 馨・高田敏文 編 |
| 4 医療と福祉 | 久道 茂・鴨池 治 編 |
| 5 自然と科学 | 吉野 博・日野正輝 編 |

全五巻 各巻定価（本体 2000 円＋税）

● 東北大学出版会 〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1

TEL 022-214-2777 FAX 022-214-2778

www.tups.jp info@tups.jp

内田詮三・荒井一利・西田清徳

ナチュラリス トリーシリーズ

日本の水族館

日本の水族館を牽引する名物館長たちが、動物たちへの想いとともにも熱く語り尽くしたユニークな水族館論。



A5判・240頁／3600円

盛口 満

A5判・160頁／2200円

昆虫の描き方

自然観察の技法Ⅱ

『生き物の描き方』（好評5刷／2300円）に続き、「ゲッチョ先生」直伝のユニークな昆虫スケッチが満載！

青木淳一

四六判・224頁／2800円

博物学の時間

大自然に学ぶサイエンス

「自然愛」としての博物学の魅力とおもしろさを、縦横に語り尽くす。

渡辺 守

四六判・200頁／2600円

生態学のレッスン

身近な言葉から学ぶ

身近なテーマから生態学のおもしろさや基礎知識を学ぶ。

樋口広芳

四六判・254頁／2800円

鳥・人・自然

いのちのにぎわいを求めて

鳥をとおして、生物多様性の理解を深め、人と自然のあり方を探る。

東京大学出版会

〒153-0041 東京都目黒区駒場 4-5-29
TEL 03-6407-1069 FAX 03-6407-1991

〈価格税別〉

http://www.utp.or.jp/

KEIO UNIVERSITY PRESS RECOMMEND

 推奨する 論文の書き方



シカゴ・スタイル 研究論文執筆マニュアル

ケイト・L・トゥラビアン 著 / 沼口隆・沼口好雄 訳

ISBN978-4-7664-1977-1

A5判並製 624頁

本体価格 8,000円+税

初版刊行以来70年以上にわたって読み継がれている、学術論文の標準スタイルの一つである「シカゴ・マニュアル」に準拠した研究手法と論文執筆のためのガイドブック、その最新版を邦訳。

ジャマーノ編集長 学術論文出版のすすめ

ウィリアム・ジャマーノ 著 / 松井貴子 訳 / 原田範行 解題

ISBN978-4-7664-1939-9

A5判並製 274頁

本体価格 3,800円+税

コロンビア大学出版局の元編集長が、学術論文出版の基本的な知識や手続きを分かりやすくユーモアを交えて解説。論文の書き方から、出版社の選定方法等、本気で論文出版を考える学生から教授、出版関係者まで幅広く参考になる実用書。



慶應義塾大学出版会 〒108-8346 東京都港区三田2-19-30 [価格税抜]
Tel 03-3451-3584 / Fax 03-3451-3122 <http://www.keio-up.co.jp>

クリタマバチの天敵

—生物的防除へのアプローチ—

村上陽三 定価 7,500円 (税別) A5判・338頁

ヒトスジシマカ 形態写真集

—バイオセンサー・マイクロマシンの観点から—

真喜屋 清 監修 / 中部電力 (株) 電気利用技術研究所 編

定価 3,000円 (税別) B5判・98頁

熱帯昆虫学

矢野宏二・矢田 脩 編 定価 7,200円 (税別) A5判・430頁

昆虫たちのアジア

—多様性・進化・人との関わり—

緒方一夫・矢田 脩・多田内 修・高木正見 編著

定価 1,000円 (税別) 新書判・216頁

九州大学出版会 福岡市東区箱崎 7-1-146 sales@kup.or.jp
TEL: 092-641-0515 / FAX: 092-641-0172

「青き清浄の地」としての里山

生物多様性からナウシカへの思索

中村 聡

定価 1,800円 (税別)
四六判・224頁

人は自然環境に弊害ではない。
自然と人間の良い関係を求める
新たな里山論。



東海教育研究所の本



柳田国男の話

～流転の運命と響き合う柳田国男の詩学への扉～

日本の近代文学の歩みと並走する柳田国男の文業をたどりつつ、キルケゴール、プルースト、カフカの言葉を手がかりに、日本民俗学の巨人の魂に新たな光を照射する。

室井光広[著] 定価(本体2,750円+税)

笑いの日本文化

「烏澁(おこ)の者」はどこへ消えたのか?

その昔、日本には笑いを神にささげる人々がいた。それが日本の笑い文化の始まりだった。柳田国男が「烏澁の者」と呼んだ彼らは、いったいどこへ消えたのか?

樋口和憲[著] 定価(本体2,000円+税)



〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-4-3 升本ビル7階
TEL:03-3227-3700 URL: <http://www.tokaiedu.co.jp/bosei>

【発売】東海大学出版部

www.kohoku.co.jp

情報テクノロジー
紙から電子メディアへ
電子メディアから紙へ
。のまろ



港北出版印刷株式会社

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-7-7
TEL.03(5466)2201(代表)

Paper, Design & Technology



株式会社 竹尾

本社 東京都千代田区神田錦町3-12-6 〒101-0054
TEL:03-3292-3611(代)

国内 大阪支店・名古屋支店・仙台支店・福岡支店・札幌営業所・
見本館本店・大阪見本館

海外 香港・シンガポール・上海・クアラルンプール・バンコク・バリ
www.takeo.co.jp



2014年8月30日発行

編集・製作 東海大学出版部

〒257-0003 神奈川県秦野市南矢名3-10-35

東海大学同窓会館内

TEL 0463-79-3941

URL <http://www.press.tokai.ac.jp>

© Tokai University Press, 2014

デザイン 岸和泉